

年 報

(平成 30 年度実績)

静岡県工業技術研究所

令和2年2月

目 次

1	概 況	
(1)	工業技術研究所の沿革	1
(2)	工業技術研究所全体の事業概要	2
(3)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要	4
(4)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの組織図	5
(5)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの職員	8
(6)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの決算	12
(7)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの主要購入機器設備	16
2	事業の実績	
(1)	試験研究、調査及び指導事務	17
ア	研究開発	17
(ア)	研究課題	17
(イ)	外部研究員招へい事業	24
(ウ)	特許等の登録及び出願	26
イ	技術相談等	27
(ア)	技術相談	27
(イ)	依頼試験	28
(ウ)	機器使用等	33
(エ)	研究会の育成	34
(オ)	研修生の受入れ	35
ウ	技術情報提供	37
(ア)	研究報告関係	37
(イ)	研究発表会関係	37
(ウ)	研究所情報等の提供	41
(エ)	研究所の事業広報等	41
(オ)	講習会等	42
(カ)	講師活動	47
(キ)	委員派遣	51
(ク)	産業技術連携推進会議等への派遣	63
(ケ)	学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展	67
(2)	平成 30 年度研究成果一覧	75
ア	工業技術研究所	75
イ	沼津工業技術支援センター	82
ウ	富士工業技術支援センター	84
エ	浜松工業技術支援センター	85

1 概 況

(1) 工業技術研究所の沿革

- 明治39年 3月 「静岡県工業試験場紙業部、漆器部、庶務部」を静岡市追手町に、「染織部」を浜名郡天神町村馬込（現浜松市）に設置し、同年11月に開場
- 大正 2年12月 「静岡県工業試験場」を静岡市水落町に移転
- 大正 4年 9月 「染織部」を「静岡県工業試験場浜松分場」に改称
- 大正 8年 「浜松分場」を浜松市北寺島町に移転
- 大正 8年12月 「静岡県工業試験場」を安倍郡豊田村南安東（後瓦場町、現静岡市葵区太田町）に移転
- 大正 9年 2月 「静岡県工業試験場」を「静岡県静岡工業試験場」に、「浜松分場」を「静岡県浜松工業試験場」に改称
- 昭和12年11月 「製紙部」を富士郡今泉村（現富士市今泉）に移転、「静岡県製紙工業試験場」を開設
- 昭和27年 4月 「静岡県浜松工業試験場」を「静岡県浜松繊維工業試験場」に、「静岡県製紙工業試験場」を「静岡県紙業指導所」に改称
- 昭和28年 1月 「静岡県静岡工業試験場」を静岡市安倍川町（現葵区駒形通5丁目）に移転
- 昭和32年 4月 「静岡県紙業指導所」を「静岡県製紙工業試験場」に改称
- 昭和36年 4月 「静岡県静岡工業試験場」を「静岡県工業試験場」に改称
- 昭和36年 6月 「静岡県工業試験場浜松分場」を浜松市小池町に設置
- 昭和38年 1月 「静岡県工業試験場浜松分場」を「静岡県機械技術指導所」と改称
- 昭和38年12月 「静岡県製紙工業試験場」を吉原市伝法（後富士市伝法、現富士市永田北町）に移転
- 昭和42年 6月 「静岡県浜松繊維工業試験場福田技術指導所」を磐田郡福田町に開所
- 昭和57年11月 「静岡県工業試験場」を現在地（静岡市葵区牧ヶ谷）に移転
- 昭和59年 4月 「静岡県工業試験場」を「静岡県工業技術センター」に改称
- 平成 2年 4月 「静岡県工業技術センター」を「静岡県静岡工業技術センター」に改称
「沼津工業技術センター」を現在地（沼津市大岡）に開設
- 平成 3年 4月 「静岡県製紙工業試験場」を現在地（富士市大淵）に移転し、機械・電子部門を加え、「静岡県富士工業技術センター」に改称
「静岡県浜松繊維工業試験場」と「静岡県機械技術指導所」を統合し、光・電子部門を加え、「静岡県浜松工業技術センター」として現在地（浜松市北区新都田1丁目）に移転、開設
- 平成19年 4月 「沼津・富士・静岡・浜松工業技術センター」を統合し、「静岡県工業技術研究所」とし、「沼津・富士・浜松工業技術センター」を「工業技術支援センター」と名称変更

(2) 工業技術研究所全体の事業概要

地域産業に最も近い技術支援機関として、研究開発、依頼試験・設備使用、技術相談・人材育成、技術情報の提供、産学官連携の促進や周辺地域の公設試験研究機関との連携強化等を通じて、ものづくりを行う県内中小企業の技術開発や課題解決を支援している。

特に、県の産業振興施策である静岡新産業集積クラスター推進事業を始めとする地域の特化技術(バイオテクノロジー、製紙、食品、環境エネルギー、生活製品、光・照明)、地域産業の基礎となる共通基盤技術(材料、機械、電子)及び中小企業全体の支援に横断的に関わるものづくり支援の各分野において、地域産業の振興、新たな産業の創出などの基礎となる技術力の向上を支援している。

また近年では、急速な人口減少による人手不足の顕在化や自動運転などの著しい技術革新への対応など、中小企業を取り巻く環境は大きく変化するしており、企業の現場ニーズに対応した支援を推進するため、生産性向上を目的としたI o Tに関する研究支援、電気自動車を始めとする次世代自動車に関する研究支援、新たな素材として期待されるCNFに関する支援について、工業技術研究所の各機関が連携した取組を進めている。

県内産業界を一体的に技術支援できる組織体制とするため、平成19年度には沼津・富士・静岡・浜松工業技術センターを統合し、工業技術研究所(静岡市)とし、その下に沼津・富士・浜松工業技術支援センターを配置した。

平成24年9月には工業技術研究所全体で、文部科学省から科研費応募資格を有する研究機関としての指定を受け、企業支援のための技術力向上に努めている。

さらに、これまでの窓口相談を拡充し、研究所及び各工業技術支援センターに平成26年3月から海外展開支援を含めた「ものづくり産業支援窓口」を開設したほか、商工会議所・商工会等との連携により、研究員が直接企業に出向く出張相談の強化や遠隔地での相談に対応する臨時窓口を設置するようにした。さらに、平成28年10月にはデザイン相談窓口を開設し、デザインに関する相談やデザイナーとのマッチング等の支援を強化した。

これらにより、企業が取り組む研究開発、製品設計・生産、品質管理における技術課題の解決のための支援が強化された。

○ 主要事業

ア 研究開発

経常研究、共同研究、受託研究、新成長戦略研究を行い、地域産業の技術基盤の強化や先端技術の開発による産業支援を行う。

イ 技術相談・人材育成

中小企業の技術相談や各種研修会・講習会を開催し、地域産業の技術力向上に努める。

ウ 依頼試験・設備使用

地域企業の新製品開発や性能評価のため、依頼試験や試験機器・施設等を開放し、技術支援を行う。

エ 技術情報の提供

研究所のウェブサイトやメールマガジン、センターニュース、また各種技術講演会を通じて、地域の中小企業を中心に、製造技術や製品開発に必要な技術情報を提供する。

オ 産学官連携の促進

静岡県工業技術研究所産学官連携推進コーディネータを配置し、地域企業の技術情報の共有化や研究開発の支援などを通じた地域企業、大学、支援機関との連携強化を図っている。

他県の公設試験研究機関との連携を密にするため、関東経済産業局管内の首都圏公設試験研究機関連携体（首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ（TKF））や、中部経済産業局管内の中部イノベネットに参画し、情報交換や広域連携による域内企業の支援強化を進めている。また、関東甲信越地域の公設試が連携して中小企業の海外展開を支援する組織（広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP））に参加し、域内企業の海外進出を技術面から支援している。

カ 静岡新産業集積クラスターの形成事業の推進

東部のファルマバレー、中部のフーズ・サイエンスヒルズ、西部のフォトンバレーの県内3クラスターの着実な推進とともに、各クラスター間の連携により、新たな技術・製品の開発を促進し、相乗効果を図る。

(3) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要

ア 工業技術研究所(静岡市)

(ア) 敷地面積	23,157 m ²	
(イ) 建築面積	7,659 m ²	
(ウ) 延床面積	13,091 m ²	
○管理棟	鉄筋コンクリート4階建	2,250 m ² (管理部門)
○研究棟	鉄筋コンクリート4階建	4,130 m ² (研究部門)
○研修棟	鉄筋コンクリート平屋建	270 m ² (講習・研修施設)
○実験棟	鉄骨平屋建	2,719 m ² (実験施設)
○開放棟	鉄筋コンクリート3階建	1,680 m ² (開放試験・共同研究施設等)
○資料館	鉄筋コンクリート2階建	460 m ²
○付属棟		1,582 m ² (設備棟・薬品庫等)

イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

(ア) 敷地面積	19,958 m ²	
(イ) 建築面積	3,892 m ²	
(ウ) 延床面積	6,219 m ²	
○管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	4,384 m ² (管理・研究部門、開放試験)
○実験棟	鉄筋コンクリート平屋建	648 m ² (実験施設)
○付属棟		305 m ² (廃水処理施設等)
○インキュベーションセンター	鉄骨平屋建	882 m ²

ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

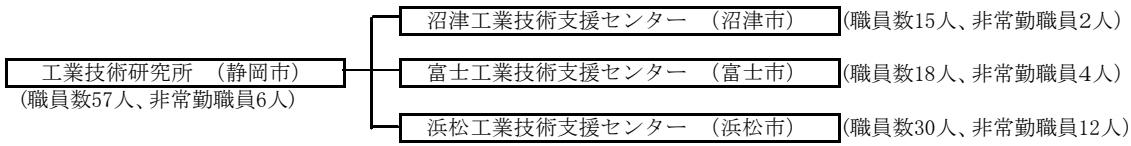
(ア) 敷地面積	20,075 m ²	
(イ) 建築面積	4,433 m ²	
(ウ) 延床面積	8,801 m ²	
○管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	5,346 m ² (管理・研究部門、開放試験)
○実験棟	鉄筋コンクリート3階建	2,414 m ² (実験施設)
○付属施設		165 m ² (車庫・駐輪場等)
○インキュベーションセンター	鉄骨平屋建	876 m ²

エ 浜松工業技術支援センター(浜松市)

(ア) 敷地面積	28,238 m ²	
(イ) 建築面積	5,792 m ²	
(ウ) 延床面積	11,142 m ²	
○管理研究棟	鉄筋コンクリート4階建	5,023 m ² (管理・研究部門)
○開放棟	鉄筋コンクリート2階建	1,276 m ² (開放試験・共同研究・講習研修施設)
○実験棟	鉄筋コンクリート2階建	3,309 m ² (実験施設)
○付属棟		128 m ² (排水処理施設・薬品庫等)
○車載機器EMCテストサイト	鉄骨平屋建	531 m ² (実験施設)
○インキュベーションセンター	鉄骨平屋建	875 m ²

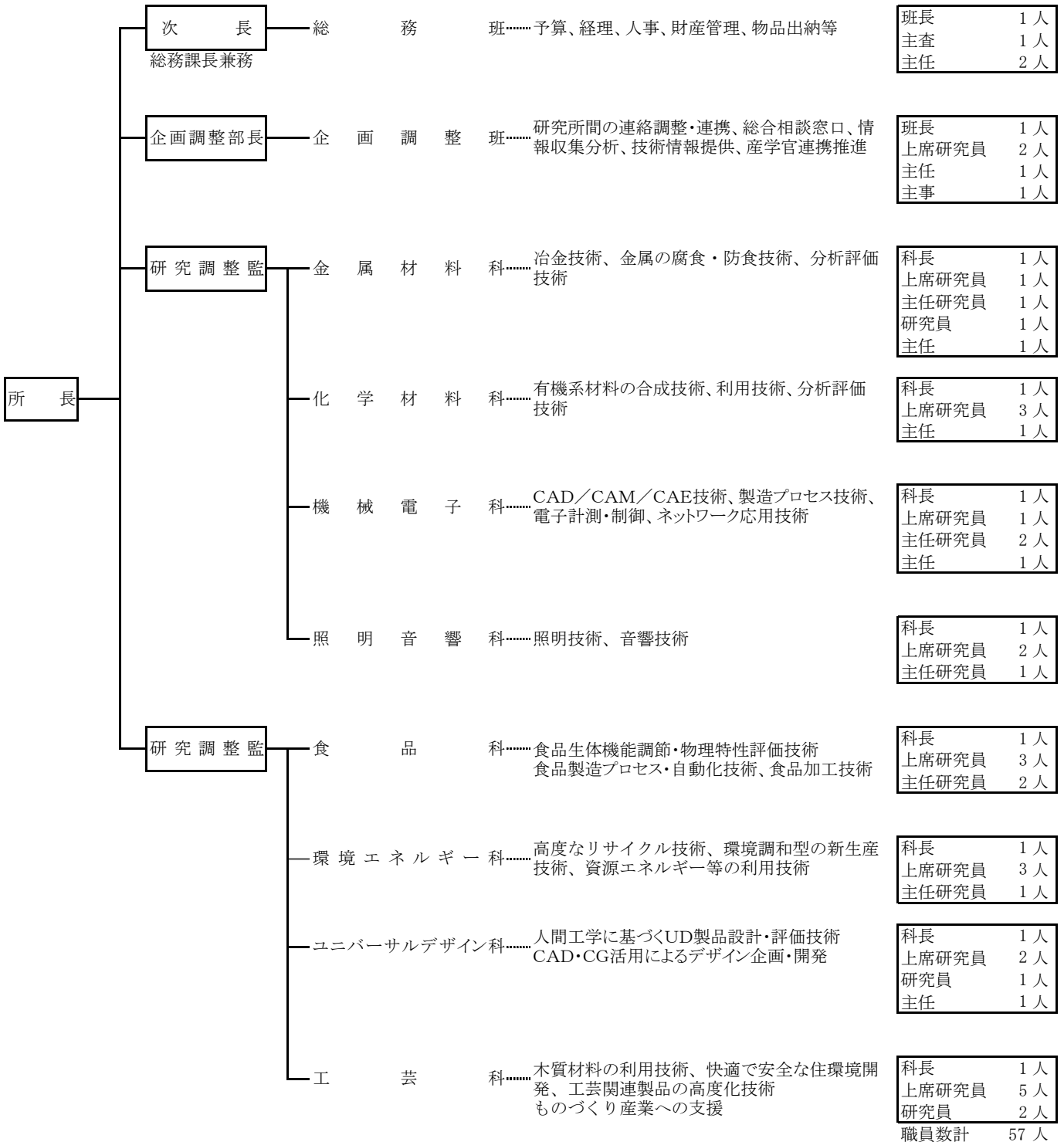
(4) 組織図

平成30年4月1日現在の工業技術研究所の組織及び業務分担は、次のとおりである。
職員総数は事務職員13人、技術職員101人、再任用職員6人、非常勤職員24人の計144人である。



ア 工業技術研究所 (静岡市)

職員数は事務職員5人、技術職員48人、再任用職員4人、非常勤職員6人の計63人である。

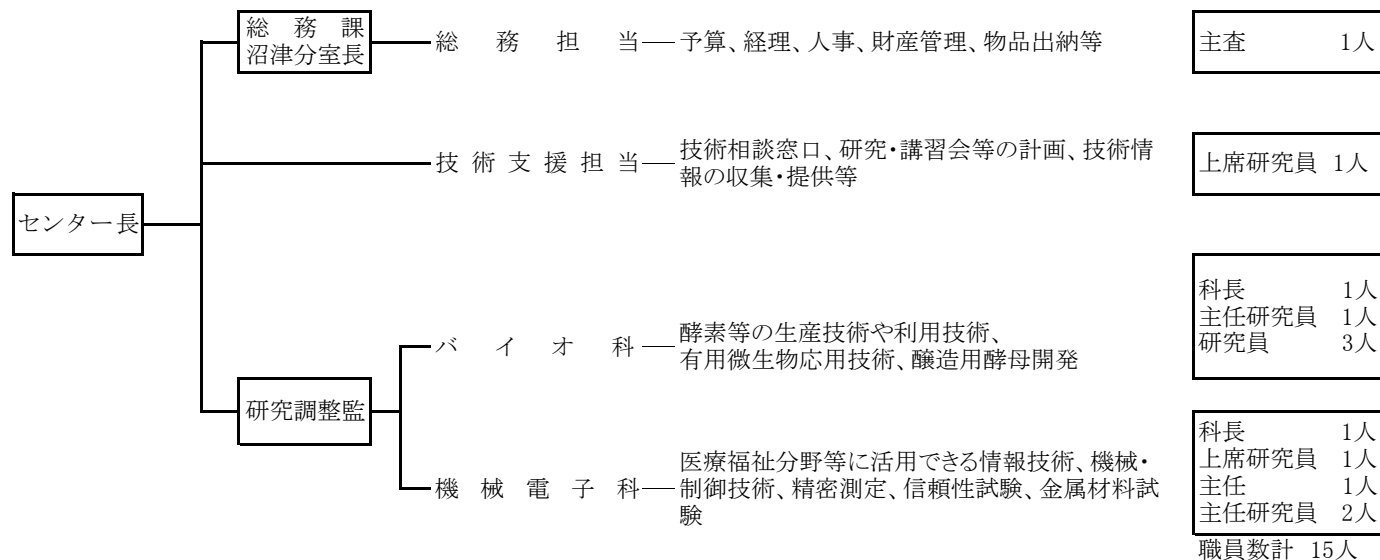


(その他非常勤職員等)

職名	人数
非常勤職員	6人

イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

職員数は事務職員2人、技術職員12人、再任用職員1人及び非常勤職員2人の計17人である。

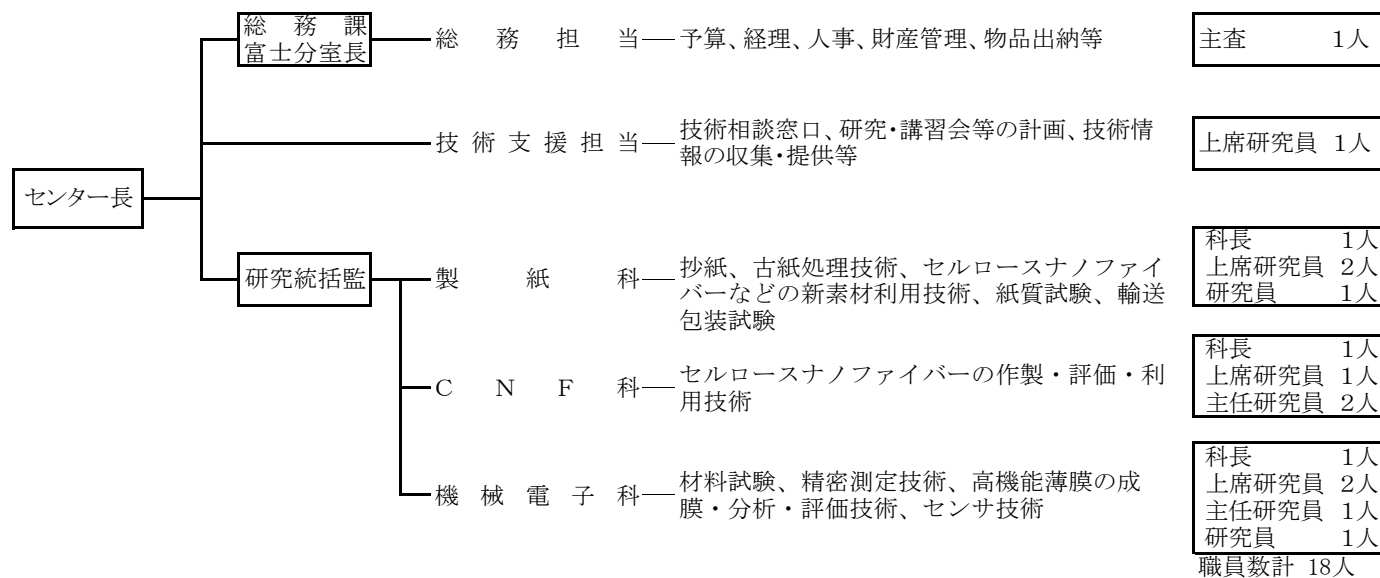


(その他非常勤職員等)

職名	人数
非常勤職員	2

ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

職員数は事務職員2人、技術職員16人及び非常勤職員4人の計22人である。

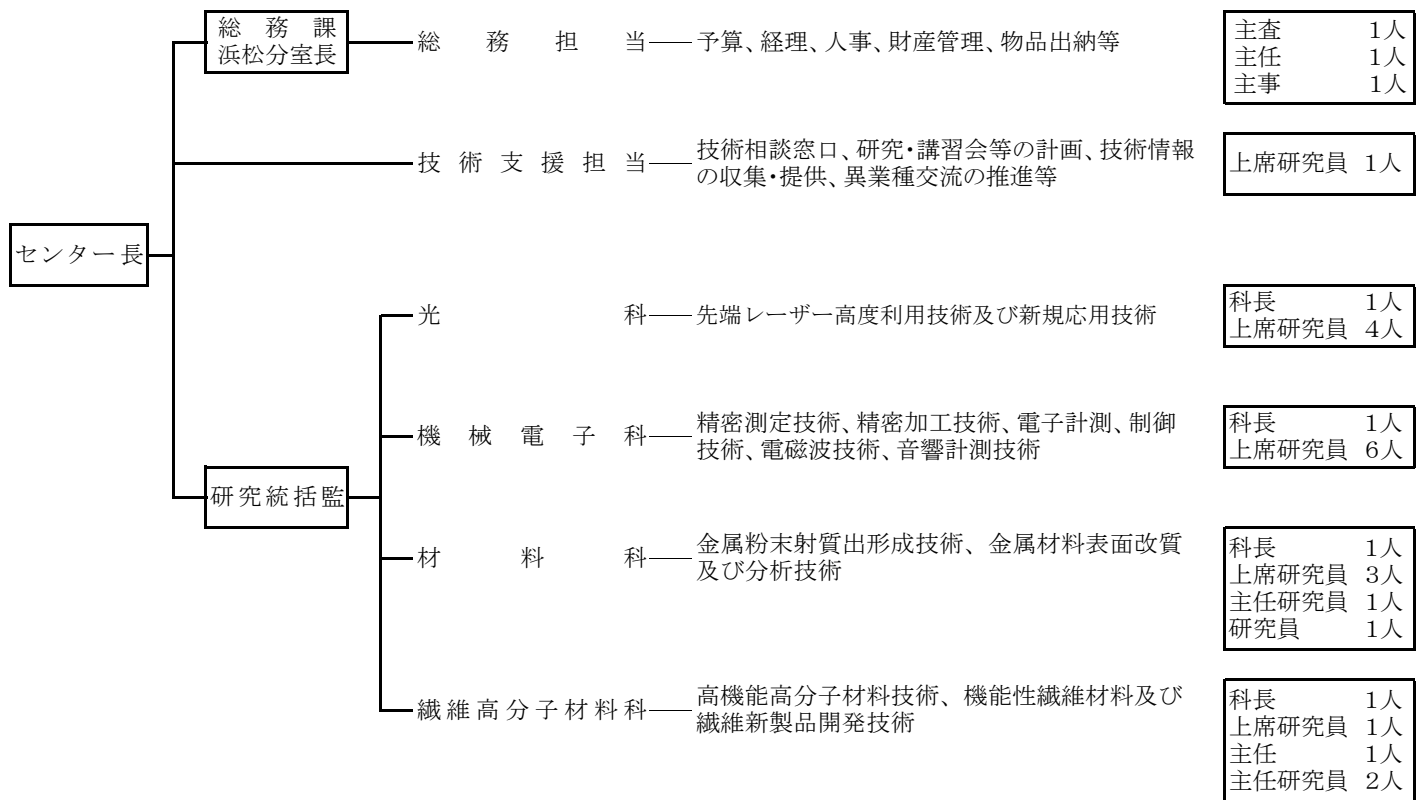


(その他非常勤職員等)

職名	人数
非常勤職員	4

エ 浜松工業技術支援センター（浜松市）

職員数は事務職員4人、技術職員25人、再任用職員1人、非常勤職員12人の計42人である。



職員数計 30人

(その他非常勤職員等)

職名	人数
非常勤職員	12

(5) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの職員

ア 工業技術研究所

部課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員 臨時職員	部課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員 臨時職員
所長		1		機械電子科		5	
次長兼総務課長	1			照明音響科		4	
企画調整部長		1		食品科		6	
研究調整監		2		環境エネルギー科		5	
総務課	3	1	1	ユニバーサルデザイン科		5	
企画調整部	2	3	3	工芸科		8	2
金属材料科		5		計	6	51	6
化学材料科		5					

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名	
所 長		望月 一男	照明音響科	上席研究員	豊田 敏裕	
				主任研究員	柳原 亘	
総務課	次長兼課長	石神 崇彦	研究調整監		田中 伸佳	
	班 長(事)	橋本 充夫		食品科	科 長	杉本 芳邦
	主 査(事)	小杉 郁奈			上席研究員	渡瀬 隆也
	主 任(事)	武田 府美緒			上席研究員	浅沼 俊倫
	主 任(技)	一瀬 将平			上席研究員	松野 正幸
非常勤職員	1名	主任研究員	三宅 健司			
企画調整部	部 長	櫻川 智史	環境 エネルギー科	主任研究員	袴田 雅俊	
	班 長	油上 保		ユニバーサル デザイン科	科 長	宮原 鐘一
	上席研究員	増井 裕久			上席研究員	太田良 和弘
	上席研究員	及川 貴康			上席研究員	岡本 哲志
	主 任(事)	白輪 真也			上席研究員	室伏 敬太
	主 事	大長 弘幸	主任研究員		中島 大介	
	非常勤職員	3名	工芸科	科 長	多々良 哲也	
研究調整監	鈴木 敬明	上席研究員		易 強		
金属材料科	科 長	萱沼 広行		上席研究員	船井 孝	
	上席研究員	綿野 哲寛		主 任(技)	深谷 謙一	
	主 任(技)	八木 淳一		研究員	大賀 久美	
	主任研究員	田中 宏樹	照明音響科	科 長	長澤 正	
	研究員	松下 五樹		上席研究員	山下 里恵	
化学材料科	科 長	田村 克浩		上席研究員	村松 重緒	
	上席研究員	本間 信行		上席研究員	藤浪 健二郎	
	上席研究員	菅野 尚子		上席研究員	渡邊 雅之	
	上席研究員	志田 英士	上席研究員	上野 千恵		
	主 任(技)	杉山 治	研究員	前田 研司		
機械電子科	科 長	長谷川 和宏	研究員	石橋 佳奈		
	上席研究員	望月 建治	非常勤職員	2名		
	主 任(技)	長谷川 茂	(事)は事務職員、(技)及びその他は技術職員(非常勤職員を除く)			
	主任研究員	橘川 義明				
	主任研究員	岩崎 清斗				
科 長	木野 直樹					
上席研究員	志智 亘					

イ 沼津工業技術支援センター

課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員
センター長		1	
研究調整監		1	
分室長	1		
総務担当	1		1
技術支援担当		1	
バイオ		5	
機械電子		5	1
計	2	13	2

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名
センター長		山本 寛人	バイオ科	研究員	鈴木 智英子
研究調整監		三浦 清	機械電子科	科 長	飯野 修
総務課分室長 (事)		内山 泰守		上席研究員	本多 正計
総務担当	主 査(事)	栗原 文子		主 任(技)	佐藤 廣美
	非常勤職員	1名		主任研究員	竹居 翼
技術支援担当	上席研究員	飯塚 千佳世		主任研究員	是永 宗祐
バイオ科	科 長	岩原 健二		非常勤職員	1名
	主任研究員	勝山 聡	(事)は事務職員、その他は技術職員(非常勤職員を除く)		
	研究員	鈴木 雅博			
研究員	望月 玲於				

ウ 富士工業技術支援センター

課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員
センター長		1	
研究統括監		1	
分室長	1		
総務担当	1		1
技術支援担当		1	
製紙		4	
CNF		4	3
機械電子		5	
計	2	16	4

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名
センター長		佐野 禎彦	CNF科	科 長	大竹 正寿
研究統括監		大川 勝正		上席研究員	齊藤 将人
総務課分室長 (事)		吉田 光廣		主任研究員	河部 千香
総務担当	主 査(事)	森上 明彦		主任研究員	白井 圭
	非常勤職員	1名	機械電子科	科 長	真野 毅
技術支援担当	上席研究員	望月 紀寿		上席研究員	高木 誠
製紙科	科 長	木野 浩成		上席研究員	中山 洋
	上席研究員	深沢 博之		主任研究員	稲葉 彩乃
	上席研究員	齊藤 和明		研究員	井出 達樹
	研究員	山口 智久	(事)は事務職員、その他は技術職員(非常勤・臨時職員を除く)		
	非常勤職員	3名			

エ 浜松工業技術支援センター

課科	事務職員	技術職員	非常勤職員・臨時職員
センター長		1	
研究統括監		1	
分室長	1		
総務担当	3		1
技術支援担当		1	2
光		5	
機械電子		7	1
材料		6	4
繊維高分子材料		5	4
合計	4	26	12

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名	
センター長		田中 孝彦	機械電子科	上席研究員	長津 義之	
研究統括監		松田 稔		上席研究員	上野 貴康	
総務課分室長(事)		石原 秀哲		非常勤職員	1名	
総務担当	主 査(事)	鈴木 裕子	材料科	科 長	伊藤 芳典	
	主 任(事)	鈴木 智子		上席研究員	吉岡 正行	
	主 事	山野井 美央		上席研究員	田光 伸也	
	非常勤職員	1名		上席研究員	植松 俊明	
技術支援担当	上席研究員	山下 晶平		主任研究員	菊池 圭祐	
	非常勤職員	2名		研究員	望月 智文	
光科	科 長	植田 浩安		非常勤職員 4名		
	上席研究員	小松 剛		繊維高分子材料科	科 長	鈴木 一之
	上席研究員	鷺坂 芳弘		上席研究員	鈴木 重好	
	上席研究員	太田 幸宏		主 任(技)	石原 彰浩	
	上席研究員	中野 雅晴		主任研究員	鈴木 悠介	
機械電子科	科 長	渥美 博安		主任研究員	森田 達弥	
	上席研究員	増田 康利	非常勤職員 4名			
	上席研究員	針幸 達也	(事)は事務職員、その他は技術職員(非常勤職員を除く)			
	上席研究員	岩澤 秀				
	上席研究員	山田 浩文				

(6) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの決算

ア 工業技術研究所

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	23,900	23,900 (証紙35,434,190)	0	
財 産 収 入	28,004	28,004	0	
諸 収 入	7,102,684	7,102,684	0	
計	7,154,588	7,154,588 (証紙35,434,190)	0	

(イ) 歳出 (人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	12,063,839	12,063,839	0	
経済産業費	284,708,006	284,708,006	0	
計	296,771,845	296,771,845	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	12,063,839 円
○経済産業費	経済産業費	7,180 円
	産業革新費	262,854,197 円
	商工業費	21,846,629 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県 事 業 名	事業費
エネルギー構造高度化・転換理解促進事業 (資源エネルギー庁)	公募競争型資金活用研究事業費	4,074,948
エネルギー構造高度化・転換理解促進事業 (資源エネルギー庁)	技術研究所研究機器等整備事業費 (機器名：油分濃度計)	1,274,400

イ 沼津工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	2,665,492	2,448,892 (証紙 14,657,420)	216,600	
財 産 収 入	297,000	297,000	0	
諸 収 入	1,776,424	1,725,524	50,900	
計	4,738,916	4,471,416 (証紙 14,657,420)	267,500	

(イ) 歳出 (人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	2,261,903	2,261,903	0	
経済産業費	104,697,818	104,697,818	0	
計	106,959,721	106,959,721	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	2,261,903 円
○経済産業費	経済産業費	22,590 円
	産業革新費	103,349,451 円
	商工業費	1,325,777 円

ウ 富士工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	2,928,900	2,928,900 (証紙 11,394,480)	0	
財 産 収 入	18,000	18,000	0	
諸 収 入	2,014,586	2,014,586	0	
計	4,961,486	4,961,486 (証紙 11,394,480)	0	

(イ) 歳出 (人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	3,720,289	3,720,289	0	
経済産業費	145,674,975	145,674,975	0	
計	149,395,264	149,395,264	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	3,720,289 円
○経済産業費	経済産業費	400 円
	産業革新費	143,675,754 円
	商工業費	1,998,821 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県 事 業 名	事業費
平成30年度セルロースナノファイバー活用製品の性能評価事業委託業務 (セルロースナノファイバーを利用した住宅部品高断熱化によるCO2削減)	公募競争型資金活用研究事業	504,361

エ 浜松工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科目	調定額	収入額	収入未済額	備考
使用料・手数料	2,036,713	2,036,713 (証紙 50,634,870)	0	
財産収入	0	0	0	
諸収入	14,101,415	14,101,415	0	
計	16,138,128	16,138,128 (証紙 50,634,870)	0	

(イ) 歳出 (人件費を除く)

(単位：円)

科目	令達額	支出額	残額	備考
経営管理費	3,491,776	3,491,776	0	
経済産業費	342,757,526	342,757,526	0	
計	346,249,302	346,249,302	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	3,491,776 円
○経済産業費	経済産業費	72,300 円
	産業革新費	249,187,560 円
	商工業費	93,497,666 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県事業名	事業費
地方創生推進交付金 (内閣府)	E V ・ 自動運転化等技術革新対応 促進事業費	44,779,311
革新的研究開発推進プログラム ImPACT (内閣府)	技術研究所試験研究費	1,672,000
戦略的基盤技術高度化支援事業 (経済産業省)	技術研究所試験研究費 技術研究所研究機器等整備事業費	4,785,300

(7) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの主要購入機器設備（金額1,000千円以上）

品名	所属	購入金額 (千円)	事業名	区分	
蛍光X線分析装置(炭素硫黄分析計付)	本所	62,640	機械工業育成機器整備事業費 (公益財団法人JKA)	団体補助	
加熱冷却プレス機	浜松	2,781	技術研究所研究機器等整備事業費		
小型振動試験機	浜松	24,084	EV・自動運転化等技術革新対応促進事業費	国補	
万能材料試験システム(長ストローク)	浜松	22,950			
共焦点レーザー顕微鏡(光干渉計付)	浜松	22,572			
X線残留応力測定装置	浜松	12,366			
食品スライスカッター	本所	1,782	フーズサイエンスヒルズプロジェクト推進事業費		
携帯型脳内血流量可視化装置	本所	1,073			
油分濃度計	本所	1,274	公募競争型資金活用研究事業費		
ニアフィールド配光測定装置	本所	16,113	新成長戦略研究推進事業	県単独	
光学設計支援システム	本所	4,687			
光学測定用恒温槽	浜松	4,622			
イオンクロマトグラフ	本所	3,780			
PWM対応照度計システム	本所	3,228			
総合加工シミュレータ装置	沼津	8,532			
試料調製装置(振動研磨機)	沼津	2,808,000			
グローブボックス	富士	1,851			
民生機器EMCイミュニティ試験装置	浜松	64,962			工業技術研究所試験検査機器整備事業費
熱定数測定装置	本所	13,716			技術研究所施設備品等整備事業費
金属組織観察システム	沼津	9,990			
マイクロX線CT	富士	47,736			

2 事業の実績

(1) 試験研究、調査及び指導事務

ア 研究開発

(ア) 研究課題

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの研究課題数

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金 による 研究	競争的 資金 以外の 研究	
工業技術研究所	8 (3) ※1 ※2 ※3	5 (1) ※5	6	8	10	37 (4)
沼津工業技術 支援センター	2	3	0	1	2	8
富士工業技術 支援センター	3 (1) ※4	1	1	0	0	5 (1)
浜松工業技術 支援センター	1	4	2	3	11	21
合計	14 (4)	13 (1)	9	12	23	71 (5)

()内は内数

- ※1 農林技術研究所が統括して、静岡においても実施
- ※2 畜産技術研究所が統括して、静岡においても実施
- ※3 富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施
- ※4 CNF科が統括して、製紙科においても実施
- ※5 県単独研究の1課題について、個人向け資金(科研費)を活用

(a) 工業技術研究所の研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
金属材料科	1	0	1	0	0	2
化学材料科	1	0	2	0	0	3
機械電子科	0	1	0	0	0	1
照明音響科	2	0	1	0	1	4
食品科	2 (1) ※1	0	1	2	6	11 (1)
環境エネルギー科	1 (1) ※2	0	0	3	1	5 (1)
ユニバーサルデザイン科	0	3 (1) ※4	0	0	0	3 (1)
工芸科	1 (1) ※3	1	1	3	2	8 (1)
合計	8 (3)	5 (1)	8	8	10	37 (4)

()内は内数

- ※1 農林技術研究所が統括して、静岡においても実施
- ※2 畜産技術研究所が統括して、静岡においても実施

- ※ 3 富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施
 ※ 4 県単独研究の1課題について、個人向け資金（科研費）を活用

(b) 沼津工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
バイオ科	1	2	0	0	1	4
機械電子科	1	1	0	1	1	4
合計	2	3	0	1	2	8

(c) 富士工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
製紙科	1(1)*	1	0	0	0	2(1)
CNF科	1	0	0	0	0	1
機械電子科	1	0	1	0	0	2
合計	3(1)	1	1	0	0	5(1)

()内は内数

- ※ CNF科が統括して、製紙科においても実施

(d) 浜松工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
光科	0	1	2	1	1	5
機械電子科	1	1	0	0	1	3
材料科	0	2	0	1	7	10
繊維高分子材料科	0	0	0	1	2	3
合計	1	4	2	3	11	21

b 平成30年度研究課題名一覧

(a) 工業技術研究所研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新成長戦略研究			
継続 H28～	健康長寿静岡の新たな機能性食品産業の創出	食品科	
継続 H28～	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化	工芸科	
新規	車載光学機器産業を支援する設計・評価・生産支援技術の開発	照明音響科	
新規	生産基盤拡大に繋がる家畜ふん尿の乾燥及びエネルギー転換技術の開発	環境エネルギー科	
新規	次世代自動車に要望されるCNF複合化樹脂へのめっき手法の開発	金属材料科	緊急対応研究枠
新規	ドイツ、フラウンホーファー研究機構等と県内産業との連携推進	照明音響科	緊急対応研究枠
新規	高分子分散剤を用いたCNF-ポリプロピレンコンポジット化技術の開発	化学材料科	チャレンジ研究
新規	機能性評価系の構築と静岡県由来乳酸菌が持つ健康機能性の解明	食品科	チャレンジ研究
県単独研究			
新規	セキュリティに配慮した基本IoTシステム標準の設計 -業務効率化を主用途とする中小企業向けシステム・パターンの開発-	機械電子科	
新規	酪農用作業に適したアシストスーツの開発	ユニバーサルデザイン科	
新規	医療現場で活用できる頭部固定枕の開発	ユニバーサルデザイン科	
新規	作業負担を軽減する新たなアシスト機構の開発	ユニバーサルデザイン科	科学研究費助成事業(基盤)
新規	伊豆特産柑橘の香りを生かす化粧品開発と機能性エビデンスの創出	工芸科	地方創生加速化交付金(内閣府)
一般共同研究			
継続 H28～	オーディオスピーカの研究開発	照明音響科	
継続 H28～	静岡型健康長寿モデル構築のためのレシピ及び高機能型食品開発	食品科	
継続 H29～	溶浸法による複合材料の開発	金属材料科	
継続 H29～	熱溶融型溶着工程の不良原因の解明と工程管理の高度化	化学材料科	
新規	赤外分光イメージング評価を指標としたCNFコンポジット技術の開発	化学材料科	

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新規	鯉だしの香りによるヒトの心理的・生理的応答に関する研究	工芸科	
受託研究（競争的資金による研究）			
継続 H28～	農林業のニーズに応える小型・低コストバイオマスガス化発電システムの開発	環境エネルギー科	戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）
継続 H29～	静岡版メタン発酵プラントによる食品バイオマスのエネルギー利用	環境エネルギー科	地産エネルギー促進事業費（県エネ課）、エネルギー構造高度化・転換理解促進事業（資源エネ庁）
継続 H29～	廃石膏ボードの石膏を利用したリン回収システムの研究開発	環境エネルギー科	静岡市産学共同研究委託事業（静岡市）
継続 H29～	バイオリズムに着目した新しい評価方法によるバラの香り成分の機能的活用のための科学的エビデンスの構築	工芸科	地域産学バリュープログラム（JST）
継続 H29～	白金担持セルロースナノファイバーの炭素化による新規な高機能触媒の開発	工芸科	（一財）東海産業技術振興財団第29回研究助成金
新規	まぐろ由来機能性成分を強化した食品の開発	食品科	静岡市産学共同研究委託事業（静岡市）
新規	多機能性おかず缶詰の開発	食品科	静岡市産学共同研究委託事業（静岡市）
新規	静岡茶を使った介護用品『にぎるっ茶』の開発	工芸科	静岡市産学共同研究委託事業（静岡市）
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	ヘッドランプ配光測定方法の検討	照明音響科	
新規	機能性茶飲料のための原料茶評価と抽出条件検討	食品科	
新規	食品の物性を改善する茶葉由来の微細化素材の開発及び物性等の評価	食品科	
新規	新規乾燥こんにゃく素材の開発	食品科	
新規	茶エキスの成分分析及び解析	食品科	
新規	茶の実の活用に関する研究	食品科	
新規	乳酸菌発酵肉開発のための乳酸菌利用技術の確立	食品科	
新規	簡易迅速な有機物濃度分析法の構築と液肥製造工程管理への応用	環境エネルギー科	

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新規	ホウ酸系防腐防蟻剤の木材内部への拡散浸透効果の検証	工芸科	
新規	セルロースナノファイバーを活用した冷感シートの開発	工芸科	

注) 経産省：経済産業省、財団：(公財)静岡県産業振興財団
 県エネ課：静岡県エネルギー政策課、資源エネ庁：資源エネルギー庁
 JST：(国研)科学技術振興機構

(b) 沼津工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
新規	次世代型インプラントの型鍛造成形を可能にする設計支援技術の開発	機械電子科	
新規	麹菌を介した清酒の新規香り成分生成及び麹菌の新規育種方法の検討	バイオ科	チャレンジ研究
県単独研究			
新規	かつお腸管由来乳酸菌のゲノム解析による優良遺伝子の探索	バイオ科	マリンバイオ産業振興事業
新規	携帯情報端末を活用した酸素ボンベ残量メータの開発	機械電子科	
新規	しずおか有用微生物ライブラリを活用した静岡サワーエールの開発	バイオ科	
一般共同研究			
	該当課題なし		
受託研究（競争的資金による研究）			
継続 H28～	骨端用プレートの高品質・低コスト成形加工技術の開発	機械電子科	戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	葛の花から分離した酵母によるプラント規模の試験醸造	バイオ科	
新規	整形外科用インプラントの金属組織評価	機械電子科	

県大：静岡県立大学、経産省：経済産業省

(c) 富士工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継続開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 H28～	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化	CNF科 製紙科	
継続 H29～	異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発	機械電子科	
県単独研究			
継続 H29～	水に解けないトイレットペーパーの原因追及と対策	製紙科	
一般共同研究			
継続 H28～	見守りシステムの応用展開に関する研究	機械電子科	

(d) 浜松工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継続開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 H29～	次世代自動車の軽量化に貢献する3D熱変形等計測・評価技術の開発	機械電子科	
県単独研究			
継続 H29～	複合的・多角的アプローチによる金属腐食生成物の解析	材料科	
新規	分光特性を利用したものづくりの品質検査に関する研究	光科	
新規	EMC試験機器の不確かさの算出による測定信頼性の向上	機械電子科	
新規	活性炭の高比表面積化による電気二重層キャパシタの静電容量向上	材料科	
一般共同研究			
継続 H29～	レーザーを用いた樹脂材料への染色技術の産業応用	光科	
継続 H29～	医療器具関連のレーザー加工装置の開発	光科	

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
受託研究（競争的資金による研究）			
継続 H29～	マイクロチップレーザーのユーザビリティ評価	光科	ImPACTプログラム (JST)
継続 H29～	熱可塑性樹脂を母材とした繊維強化複合材の成形加工に関する研究開発	繊維高分子材料科	戦略的基盤技術 高度化支援事業 (経産省)
新規	めっき技術による撥液性皮膜作製技術の開発	材料科	産学官連携開発 助成事業（財団）
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	粗さ試験片に対する形状計測と質感計測との相関評価	光科	
新規	アルミニウム合金砂型鋳物の機械的性質に及ぼす合金成分および熱処理に関する研究開発	機械電子科	
新規	プラチナめっき電極作製技術の開発	材料科	
新規	電磁鋼板の加工変質層に及ぼすプレス成形条件の影響	材料科	
新規	コーヒーカす活性炭電極の厚さが電気二重層キャパシタ特性に及ぼす影響	材料科	
新規	チェーンの表面処理と機械強度の関係について	材料科	
新規	CP加工とSEM-EDXによるセンサ断面構造の評価・解析	材料科	
新規	レーザー処理および後処理後の表面状態の解析	材料科	
新規	樹脂、非鉄金属のエンドミル切削における切りくず排出性の向上	材料科	
新規	超高強力ポリエチレン繊維を用いた組糸への塗工方法の検討	繊維高分子材料科	
新規	高比重成形材を用いた成形品の品質評価	繊維高分子材料科	

注) 財団：(公財)静岡県産業振興財団、JST：(国研)科学技術振興機構
 経産省：経済産業省

(イ) 外部研究員招へい事業

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

	人数	指導時間
工業技術研究所	9	59
沼津工業技術支援センター	3	26
富士工業技術支援センター	2	24
浜松工業技術支援センター	9	67
合計	23	176

※ 括弧内は計画

b 外部研究員一覧

(a) 工業技術研究所外部研究員

所属	専門	指導を受ける内容	指導時間
(株)ケイ・エム・ティ	3DCADによる3次元シミュレーション技法	3DCAD(Creo Parametric)の使用方法	21
(株)今泉鋳造鉄工所	金属冶金	金属部材の破断面の解析と対応について	8
東京農工大学大学院	薄膜工学	めっきの研究指導	4
九州大学工学研究院	材料電気化学	めっきの構造解析	6
静岡県立大学大学院	生化学、応用微生物学	微生物を用いたバイオマスからの高付加価値物質生産について	4
早稲田大学人間科学学術院	人間工学	作業効率や作業負担の評価方法についての講義	4
武庫川女子大学短期大学部	高分子化学	天然素材の化学修飾法とその解析方法について	4
東京大学大学院	炭素材料	木質系バイオマスの炭素化と特性解析	4
京都大学生存圏研究所	電気工学、情報学、電気化学	バブルの消泡技術について	4
合計 9 人		合計 59 時間	

(b) 沼津工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導時間
花の舞酒造(株)	日本酒製造	清酒醸造における実践的な麴作り	10
東京農業大学	醸造学	サワーエール製造方法について	8
中部大学	画像処理	画像情報処理について	8
合計 3 人		合計 26 時間	

(c) 富士工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導時間
(一社)静岡県紙パルプ技術協会	製紙工学	水に解けないトイレットペーパーの原因追及と対策	16
沼津工業高等専門学校	信号処理	機械学習の知識・技術	8
合計 2 人		合計 24 時間	

(d) 浜松工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導時間
静岡文化芸術大学	デザイン工学	3次元積層造形および3次元データの取り扱いに関する指導	12
東京大学大学院	炭素材料学	キャパシタ能力向上のための炭化、賦活処理に関する指導	4
日本大学	塑性加工	プレス成形シミュレーションの精度向上について	4
大阪大学レーザー科学研究所	レーザー工学	レーザーによる樹脂材料の染色技術の産業応用	8
(株)オンワード技研	ドライコーティング	DLC皮膜作製技術について	6
CFRP研究会	高分子材料・複合材	熱可塑性樹脂を母材とした繊維強化複合材の成形加工	8
今田技術士事務所	着色材料	レーザによる樹脂材料の染色技術の産業応用	8
静岡理工科大学	高分子科学	機能性を付与するための高分子皮膜形成に関する指導	9
相山女学園大学	染色技術	繊維製品の染色技術	8
合計 9 人		合計 67 時間	

(ウ) 特許等の登録及び出願

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計（平成31年3月31日現在）

	出願中件数	登録件数
工業技術研究所	8 ¹⁾	20 ²⁾
沼津工業技術支援センター	1	1 ³⁾
富士工業技術支援センター	3	4
浜松工業技術支援センター	3 ⁴⁾	15 ⁵⁾
合計	15	40

- 1) 意匠出願1件を含む。
- 2) 外国意匠出願1件を含む。
- 3) 著作権
- 4) 外国特許出願1件を含む。
- 5) 外国特許登録8件を含む。

b aのうち特許等出願、登録及び消滅件数

	出願件数	登録件数	消滅件数
工業技術研究所	0	0	1
沼津工業技術支援センター	0	0	0
富士工業技術支援センター	1	1	0
浜松工業技術支援センター	0	2 ⁶⁾	0
合計	1	3	1

- 6) 外国での特許2件

イ 技術相談等

(ア) 技術相談

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの相談件数合計

	工業技術研究所	沼津工業技術支援センター	富士工業技術支援センター	浜松工業技術支援センター	合計
技術相談	12,046	2,066	3,798	9,653	27,563
実地指導	1,667	139	225	366	2,397
合計	13,713	2,205	4,023	10,019	29,960

(a) 工業技術研究所の相談件数

所属	金属材料科	化学材料科	機械電子科	照明音響科
技術相談	1,078	2,382	910	1,438
実地指導	32	45	99	80
合計	1,110	2,427	1,009	1,518
所属	食品科	環境エネルギー科	エニバーサルデザイン科	工芸科
技術相談	1,599	1,115	1,685	1,760
実地指導	272	453	121	305
合計	1,871	1,568	1,806	2,065
所属	その他	合計		
技術相談	79	12,046		
実地指導	260	1,667		
合計	339	13,713		

(b) 沼津工業技術支援センター相談件数

所属	バイオ科	機械電子科	その他	合計
技術相談	288	1,758	20	2,066
実地指導	68	38	33	139
合計	356	1,796	53	2,205

(c) 富士工業技術支援センター相談件数

所属	製紙科	CNF科	機械電子科	その他
技術相談	1,296	576	1,841	85
実地指導	48	63	68	46
合計	1,344	639	1,909	131
所属	合計			
技術相談	3,798			
実地指導	225			
合計	4,023			

(d) 浜松工業技術支援センター相談件数

所属	光科	機械電子科	材料科	繊維高分子材料科
技術相談	925	2,226	4,875	1,539
実地指導	38	45	199	27
合計	963	2,271	5,074	1,566
所属	その他	合計		
技術相談	88	9,653		
実地指導	57	366		
合計	145	10,019		

(イ) 依頼試験

a 依頼試験内訳（工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計）

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	1,893	13,087,580
	定量分析	381	2,694,910
2 工業用材料	材料強度試験	2,491	4,761,840
	長期性能試験	40,798	9,524,960
	特殊試験	364	5,138,320
3 木材工業	木材試験	53	241,160
	塗料試験	12	18,120
	製品試験	428	2,056,650
4 化学工業	金属表面処理試験	71	290,560
	プラスチック及びゴム試験	8	51,160
	微生物試験	1	6,300
	セラミックス試験	0	0
	熱勘定試験	0	0
5 機械金属工業	精密測定	119	346,720
	機械器具の検査及び試験	0	0
	金属試験	242	1,201,550
	電気試験	37	116,920
6 包装材料	包装材料試験	53	69,430
7 繊維工業	繊維材料試験	1	3,510
	編織試験	75	167,820
	染色試験	0	0
	整理仕上加工試験	0	0
8 製紙工業	原材料試験	32	413,140
	紙質試験	383	947,790
	製紙及び紙加工試験	20	183,120
9 加工	塗装加工	0	0
	木竹材加工	0	0
10 設計及び調整	機械等の設計及び調整	477	1,081,800
	繊維デザイン	0	0
	商業及び工業デザイン	39	104,760
11 写真及び複写		163	76,540
12 成績書の複本		27	15,680
合 計		48,168	42,600,340

(a) 工業技術研究所の依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	346	4,796,550
	定量分析	179	627,750
2 工業用材料	材料強度試験	1,954	3,582,000
	長期性能試験	8,957	2,418,370
	特殊試験	201	3,468,780
3 木材工業	木材試験	53	241,160
	塗料試験	6	9,060
	製品試験	428	2,056,650
4 化学工業	金属表面処理試験		
	プラスチック及びゴム試験	8	51,160
	微生物試験		
	セラミックス試験		
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定		
	機械器具の検査及び試験		
	金属試験	25	163,060
	電気試験		
6 包装材料	包装材料試験	2	2,620
7 繊維工業	繊維材料試験		
	編織試験		
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験		
	紙質試験		
	製紙及び紙加工試験		
9 加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	39	148,800
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン	39	104,760
11 写真及び複写		22	8,690
12 成績書の複本		2	980
合 計		12,261	17,680,390

(b) 沼津工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	80	413,770
	定量分析	7	10,460
2 工業用材料	材料強度試験	24	45,070
	長期性能試験	11,252	2,708,700
	特殊試験	19	105,370
3 木材工業	木材試験		
	塗料試験		
	製品試験		
4 化学工業	金属表面処理試験		
	プラスチック及びゴム試験		
	微生物試験	1	6,300
	セラミックス試験		
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定	119	346,720
	機械器具の検査及び試験		
	金属試験	2	7,750
	電気試験	37	116,920
6 包装材料	包装材料試験		
7 繊維工業	繊維材料試験		
	編織試験		
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験		
	紙質試験		
	製紙及び紙加工試験		
9 加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製		
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン		
11 写真及び複写		51	27,030
12 成績書の複本			
合 計		11,592	3,788,090

(c) 富士工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	2	15,980
	定量分析		
2 工業用材料	材料強度試験	100	140,020
	長期性能試験	2,260	556,420
	特殊試験		
3 木材工業	木材試験		
	塗料試験		
	製品試験		
4 化学工業	金属表面処理試験		
	プラスチック及びゴム試験		
	微生物試験		
	セラミックス試験		
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定		
	機械器具の検査及び試験		
	金属試験		
	電気試験		
6 包装材料	包装材料試験	51	66,810
7 繊維工業	繊維材料試験		
	編織試験		
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験	32	413,140
	紙質試験	383	947,790
	製紙及び紙加工試験	20	183,120
9 加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製		
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン		
11 写真及び複写			
12 成績書の複本		25	14,700
合 計		2,873	2,337,980

(d) 浜松工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	1,465	7,861,280
	定量分析	195	2,056,700
2 工業用材料	材料強度試験	413	994,750
	長期性能試験	18,329	3,841,470
	特殊試験	144	1,564,170
3 木材工業	木材試験		
	塗料試験	6	9,060
	製品試験		
4 化学工業	金属表面処理試験	71	290,560
	プラスチック及びゴム試験		
	微生物試験		
	セラミック試験		
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定		
	機械器具の検査及び試験		
	金属試験	215	1,030,740
	電気試験		
6 包装材料	包装材料試験		
7 繊維工業	繊維材料試験	1	3,510
	編織試験	75	167,820
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験		
	紙質試験		
	製紙及び紙加工試験		
9 加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	438	933,000
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン		
11 写真及び複写		90	40,820
12 成績書の複本			
合 計		21,442	18,793,880

(ウ) 機器使用等

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの機器使用等の実績合計

		時間数	金額(円)
機器使用		73,008	63,925,120
研修 施設等 使用	研修施設	452	274,250
	無響室	161	595,700
	電波暗室	597	4,610,050
	車載機器用EMS電波暗室	0	0
	車載機器用EMI電波暗室	0	0
	B C I 試験室 (シールドルーム)	0	0
	車載機器試験用シールドルーム	29	115,500
合 計		74,247	69,520,620

(a) 工業技術研究所の機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		23,514	17,585,150
研修 施設等 使用	研修施設	88	28,050
	無響室	38	140,600
合 計		23,640	17,753,800

(b) 沼津工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		6,374	10,778,130
研修施設		62	91,200
合 計		6,436	10,869,330

(c) 富士工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		7,870	8,983,500
研修施設		238	73,000
合 計		8,108	9,056,500

(d) 浜松工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		35,250	26,578,340
研修 施設等 使用	研修施設	64	82,000
	無響室	123	455,100
	電波暗室	597	4,610,050
	車載機器用EMS電波暗室		
	車載機器用EMI電波暗室		
	B C I 試験室 (シールドルーム)		
	車載機器試験用シールドルーム	29	115,500
合 計		36,063	31,840,990

(エ) 研究会の育成

a 工業技術研究所

研究会名	発足年月	会員数
静岡県プレス技術研究会	昭和44年 6月	35社
静岡県食品技術研究会	昭和47年12月	117社
静岡県資源環境技術研究会	昭和44年11月	79社・人
静岡県プラスチック技術研究会	平成 2年 6月	31社
静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	平成 7年 5月	40社

b 沼津工業技術支援センター（令和元年7月31日現在）

研究会名	発足年月	会員数
静岡県東部精密技術研究会	平成 2年 6月	36社・団体
静岡県バイオテクノロジー研究会	昭和59年 9月	29社

c 富士工業技術支援センター（令和元年7月31日現在）

研究会名	発足年月	会員数
静岡県紙パ技術研究フォーラム	昭和62年 9月	9社

d 浜松工業技術支援センター（令和元年7月31日現在）

研究会名	発足年月	会員数
浜松機械技術研究会	昭和39年12月	60社
表面技術研究会	昭和60年 8月	38社
浜松繊維加工技術研究会	平成 7年 7月	13社
浜松品質工学研究会	平成 9年 3月	25人
浜松EMC研究会	平成20年 6月	21社
浜松地域CFRP事業化研究会	平成21年 4月	44社
はままつ超ハイテン研究会	平成28年 6月	15社

(オ) 研修生の受入れ

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

単位：人

	一般研修	就業体験研修	連携大学院
工業技術研究所	9	5	0
沼津工業技術支援センター	0	0	0
富士工業技術支援センター	7	2	0
浜松工業技術支援センター	4	0	0
合計	20	7	0

(a) 工業技術研究所の研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	アミノ酸組成の分析方法、核酸の分析方法	平成30年4月9日～平成31年3月29日	県内企業 1人
食品科	一般成分分析、油の劣化分析、細菌検査、その他食品関係の分析	平成30年6月1日～平成31年3月29日	県内企業 1人
食品科	酵母の応用適正評価	平成30年8月1日～平成31年3月29日	県内高校 6人
食品科	湿式灰化	平成30年12月1日～平成31年3月29日	県内大学 1人
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
化学材料科・食品科・環境エネルギー科、工芸科	環境・エネルギー関連技術	平成30年8月27日～平成30年8月31日	県外大学 1人
照明音響科	照明音響関連技術	平成30年8月27日～平成30年8月31日	県外大学 1人
食品科・工芸科	化粧品・化成品関連技術	平成30年8月27日～平成30年8月31日	県内大学 1人
食品科	食品関連技術	平成30年8月27日～平成30年8月31日	県内大学 2人
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

(b) 沼津工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

(c) 富士工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
製紙科	静岡県紙パルプ技術協会中小企業技術者研修（製紙工学課程・中期）	平成30年8月29日～ 平成30年8月31日	県内企業 7人
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
製紙科 CNF科 機械電子科	各科の業務	平成30年9月4日～ 平成30年9月6日	県内高校 2人
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

(d) 浜松工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
材料科	表面処理材料の評価方法	平成31年3月11日～ 平成31年3月12日	県内企業 4人
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

ウ 技術情報提供

(ア) 研究報告関係

研究成果事例集	展示会での閲覧及び協議会等で配布 ホームページに掲載
工業技術研究所研究報告	1,300部

(イ) 研究発表会関係

研 究 発 表 会	工業技術研究所	開催年月日	H31. 3. 11
		参加者数	256人
		要旨集	500部
	沼津工業技術 支援センター	開催年月日	H30. 5. 15
		参加者数	37人
		要旨集	50部
	富士工業技術 支援センター	開催年月日	H31. 3. 7
		参加者数	89人
		要旨集	120部
	浜松工業技術 支援センター	開催年月日	H30. 11. 22
		参加者数	143人
		要旨集	160部

(a) 工業技術研究所研究発表会の実績（平成31年3月11日）

テーマ名	発表者
難加工材の鍛造成形に必要な設計支援技術の開発 － 生体適合性材料（チタン合金）の材料特性データの取得 －	本多正計 是永宗祐 （沼津）
次世代自動車の軽量化に貢献する3D熱変形計測・評価技術の開発	針幸達也 （浜松）
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発	高木 誠 稲葉彩乃 （富士）
溶浸法による高強度複合材料の開発	松下五樹
中小企業によるIoT取り組み事例	岩崎清斗
車載光学機器産業を支援する設計・評価・生産支援技術の開発	豊田敏裕
表面の見栄えに影響する粗さパラメーターの解明	柳原 亘
ヘッドアップディスプレイにおける虚像光学系の評価	志智 亘

テーマ名	発表者
照明シミュレーションによる屋外光環境の再現	豊田敏裕
吸音材料の開発 -オーディオスピーカーへの応用-	木野直樹
ホットメルト接着剤のトラブル事例とその接着特性	本間信行
セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化	齊藤将人 (富士)
塗料へのCNF添加の検討 (II)	渡邊雅之
酢酸ビニル樹脂接着剤におけるCNFの添加効果	前田研司
CNFを用いた香り成分の放散挙動について	石橋佳奈
モルタルへのCNF添加試験	村松重緒
赤外分光イメージング技術を活用したCNF分散性の評価	菅野尚子
高分子分散剤を用いたCNF-ポリプロピレンコンポジット化技術の開発	志田英士
CNF添加ポリプロピレンへのめっき特性の評価	田中宏樹
静岡版メタン発酵プラントの実証化試験について	太田良和弘
食品廃棄物のメタン発酵処理における菌叢変遷の解析	室伏敬太
小型・低コストバイオマスガス化発電システムの開発 - ガス化生成物の解析・評価 -	岡本哲志
新たな廃石膏ボードリサイクルの可能性 - リン回収資材として -	中島大介
しずおか有用微生物ライブラリを活用した静岡サワービールの開発	勝山 聡 (沼津)
葛花(かっか)酵母を活用した発酵食品の開発 - 清酒への応用 -	黒瀬智英子 (沼津)
静岡県由来乳酸菌の機能性評価	袴田雅俊
機能性表示食品制度を活用する取組と柑橘加工品の開発	松野正幸
静岡県農林水産物データベースの構築と機能性成分分析法の検討	浅沼俊倫
筋肉と骨の栄養を考えた食品の開発	渡瀬隆也
新たな乾燥こんにゃく素材の開発とその利用	三宅健司
静岡茶を使った拘縮手用にぎり袋の機能性評価	上野千恵
県産の香りを活かした化粧品開発の取り組み - 心と身体への香り機能の探索 -	山下里恵
医療現場で活用できる頭部固定枕の検討	船井孝

テーマ名	発表者
酪農作業の作業負担評価	大賀久美
表面処理の不具合解析事例	綿野哲寛
蛍光X線分析装置の分析事例	萱沼広行
プラスチック材料とその試験速度の効果	田村克浩
クラフトビール製造におけるモルトカスの有効活用	三宅健司
デザイン製作でこまっていますか？ － ポスター・3Dデータ作成等の事例紹介 －	多々良哲也
筋電図による長時間作業負担評価の一例	易 強
介護・福祉用クッションの改良支援 － クッションビーズの耐熱化 －	村松重緒

(b) 沼津工業技術支援センター研究発表会の実績（平成30年5月15日）

テーマ名	発表者
静岡の微生物が拓く発酵食品ビジネスチャンス！	勝山 聡
静岡県オリジナルのビール酵母の開発	鈴木雅博
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発（I）	高木 誠 （富士）
画像センシングを活用した医療機器のIoT デバイス化に関する研究	竹居 翼

(c) 富士工業技術支援センター研究発表会の実績（平成31年3月7日）

テーマ名	発表者
水に解けないトイレトペーパーの原因と対策（第2報）	齊藤和明
セルロースナノファイバーに関する研究	齊藤将人
セルロースナノファイバーの繊維製品への活用の検討	河部千香
湿式微粒化装置「Star Burst Labo」を用いたセルロースナノファイバーの作製及び評価	白井 圭
解繊度合の異なるセルロースナノファイバーの紙への添加効果	山口智久

テーマ名	発表者
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発（第3報）	高木 誠
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発（第4報） － プラズマ照射による接着強度向上効果について －	稲葉彩乃
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発（第5報） － プラズマ照射における評価手法の検討 －	井出達樹
見守りシステムの応用展開 － 牛分娩検知技術とシステムの普及・応用状況 －	中山 洋

(d) 浜松工業技術支援センター研究発表会の実績（平成30年11月22日）

テーマ名	発表者
熱変形と製品バリエーションを考慮した公差設定	針幸達也
非接触光学式3Dひずみ・変形測定機の導入 － 形状測定例と精度検証、測定の際の注意点 －	長津義之
非接触光学式3Dひずみ・変形測定機の導入 － ひずみ測定事例とデータ応用例 －	岩澤 秀
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発(I) － EV 開発支援に向けた取組みについて －	高木 誠 (富士)
低環境負荷の注染用防染糊の開発	森田達弥
TMA による非晶質プラスチック材料の熱履歴の評価方法	吉岡正行
クロスセクションポリッシャによる金属材料の断面評価方法	田光伸也
プレス成形シミュレーションに使用する材料パラメータの評価方法	菊池圭祐
X線残留応力測定装置による金属材料の残留応力の評価方法	植松俊明
マイクロチップレーザー試用プラットフォームを開設しました	鷺坂芳弘
屈折率分布測定による透明プラスチック製品の品質評価	中野雅晴
2 μ m レーザーによる透明プラスチック溶着	小松 剛

(ウ) 研究所情報等の提供

刊行物名	発行部数 (部)	ホームページ 掲載
工業技術研究所各科紹介チラシ	—	○
沼津工業技術支援センターニュース	1,200	○
富士工業技術支援センターニュース	1,200	○
浜松工業技術支援センターニュース	2,000	○
静岡県工業技術情報	—	○
静岡県工業技術研究所年報	—	○
静岡県工業技術研究所メールマガジン	22回	—

(エ) 研究所の事業広報等

見学の受入	工業技術研究所		400人
	沼津工業技術支援センター		71人
	富士工業技術支援センター		305人
	浜松工業技術支援センター		308人
「県民の日」	工業技術研究所	開催年月日	H30. 8. 3
		参加者数	273人
研究所 フェア	沼津工業技術 支援センター	開催年月日	H30. 8. 3
		参加者数	243人
及び センター フェア	富士工業技術 支援センター	開催年月日	H30. 8. 3
		参加者数	241人
	浜松工業技術 支援センター	開催年月日	H30. 8. 3
		参加者数	227人

(オ) 講習会等

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	実施回数	参加者数
工業技術研究所	22	1,057
沼津工業技術支援センター	8	243
富士工業技術支援センター	13	470
浜松工業技術支援センター	26	990
合計	69	2,760

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H30.5.25	プレス技術研究会総会講演会	静岡県職員会館	29	静岡県プレス技術研究会
H30.6.20	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会講習会	第1回 工業技術研究所	32	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会
H30.9.19		第2回 工業技術研究所	37	
H30.12.12		第3回 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」	23	
H31.1.30		第4回 工業技術研究所	44	
H30.7.25	金属強度試験の基礎	工業技術研究所	41	静岡県プレス技術研究会
H30.7.26	第7回排水処理技術セミナー	静岡県男女共同参画センター「あざれあ」	60	静岡県資源環境技術研究会 静岡県環境保全協会 静岡市環境保全推進協力会
H30.9.7	食品技術研修会	第255回 ホテルアソシア静岡	103	食品技術研究会 静岡大学食品・生物産業創出拠点
H30.11.26		第256回 中島屋グランドホテル	100	食品技術研究会
H31.3.8		第258回例会 アクトシティ浜松研修交流センター	66	食品技術研究会 食品産業協議会
H30.9.10	平成30年度研究室見学会	静岡大学	7	静岡県プラスチック技術研究会
H30.9.26	最新トレンドに学ぶ AI&IoT &RPA	工業技術研究所	64	静岡県プレス技術研究会

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H30. 10. 22	日本発の民間認証JFS説明会	静岡県男女共同参画センター「あざれあ」	124	食品産業センター 食品技術研究会
H30. 10. 23	HACCPの考えを取り入れた衛生管理のための研修会	静岡県男女共同参画センター「あざれあ」	127	フーズ・サイエンスセンター
H30. 11. 8	微生物検査の基礎実習	工業技術研究所	24	食品技術研究会 食品産業協議会
H30. 11. 9	平成30年度工場見学会	(株)ニデック、愛知県三河繊維技術センター	13	静岡県プラスチック技術研究会
H30. 11. 14	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会 見学会	(株)IAI 他	16	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会
H31. 2. 20		常葉大学	12	
H30. 11. 28	蛍光X線分析法の基礎とその応用	工業技術研究所	28	静岡県プレス技術研究会
H31. 2. 15	プレス金型材料の基礎と熱処理	工業技術研究所	36	静岡県プレス技術研究会
H31. 2. 18	マイクロオプティクス成形技術セミナー	静岡市産学交流センター	35	静岡県工業技術研究所 光産業創成大学院大学 静岡市産学交流センター (公財)浜松地域イノベーション推進機構 (独)日本貿易振興機構 ジェトロ静岡 ジェトロ浜松 ドイツ連邦共和国バイエルン州駐日代表部
H31. 2. 27	第31回成形技術講習会	工業技術研究所	36	静岡県プラスチック技術研究会
実施回数 22回			参加者数 1,057人	

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H30. 5. 7	静岡県東部精密技術研究会第29回総会 特別講演会	ファルマバレーセンター	72	静岡県東部精密技術研究会 沼津センター協議会
H30. 6. 15	静岡県バイオテクノロジー研究会 特別講演会	グランディエール ブケトーカイ	24	静岡県バイオテクノロジー研究会
H30. 7. 12	静岡県東部精密技術研究会	沼津工業技術支援センター	第82回	静岡県東部精密技術研究会 沼津センター協議会
H30. 11. 20			第83回	

年月日	件名		会場	参加人数	共催等
H30. 9. 13	静岡県東部精密技術研究会見学会	第75回	スズキ歴史館	19	静岡県東部精密技術研究会 沼津センター協議会
H30. 1. 28		第76回	リコー環境事業開発センター	17	
H30. 10. 5	静岡県バイオテクノロジー研究会 見学会		静岡県水産技術研究所 先端農業推進拠点AOI-PARC	19	静岡県バイオテクノロジー研究会
H30. 12. 5	静岡県バイオテクノロジー研究会 企業発表会・講演会		静岡県男女共同参画センター「あざれあ」	25	静岡県バイオテクノロジー研究会
実施回数 8 回				参加者数 243 人	

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	件名		会場	参加人数	共催等
H30. 5. 18	接着・接合技術講演会		富士工業技術支援センター	27	富士センター協議会機械・電子部会
H30. 5. 23	紙関連技術講演会	第1回	富士工業技術支援センター	31	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会 (一社) 静岡県紙業協会
H30. 7. 18		第2回		60	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会
H30. 9. 12		第3回		83	
H30. 11. 28		第4回		41	
H31. 2. 6		第5回		61	
H30. 5. 31	静岡県紙パ技術研究フォーラム	技術勉強会	富士工業技術支援センター	13	静岡県紙パ技術研究フォーラム
H30. 11. 19		技術解説	富士工業技術支援センター	11	
H30. 11. 29		会社見学会	(株)都市環境エンジニアリング 京浜島工場、 日本フェルト(株) 埼玉工場	11	
H31. 3. 28		技術勉強会	富士工業技術支援センター	11	
H30. 7. 25	EMC試験セミナー		富士工業技術支援センター	35	富士センター協議会機械・電子部会
H30. 11. 2	めっきの基本としくみ 講演会		富士工業技術支援センター	58	富士センター協議会機械・電子部会
H31. 2. 8	マイクロX線CT講習会		富士工業技術支援センター	28	富士センター協議会 ふじのくにCNFフォーラム
実施回数 13 回				参加者数 470 人	

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H30. 4. 20 H30. 5. 18 H30. 6. 18 H30. 7. 23 H30. 8. 31 H30. 9. 21 H30. 10. 22 H30. 11. 19 H30. 12. 17	浜松品質工学研究会	浜松工業技術支援センター	22 18 14 14 15 14 14 17 14	浜松品質工学研究会 浜松センター協議会
H30. 5. 2	パラメータ設計入門講座	浜松工業技術支援センター	12	浜松品質工学研究会 浜松センター協議会
H30. 5. 31	浜松EMC研究会	浜松工業技術支援センター	19	浜松EMC研究会 浜松センター協議会
H30. 6. 16	表面粗さ測定の基礎	浜松工業技術支援センター	59	浜松機械技術研究会 浜松センター協議会
H30. 6. 18	材料試験の基礎とプレス成形シミュレーションへの応用	浜松工業技術支援センター	35	浜松センター協議会
H30. 6. 27	浜松機械技術研究会特別講演会	クラウンパレスホテル 浜松	27	浜松機械技術研究会
H30. 7. 9	工場見学会	オークマ株式会社 他	18	浜松機械技術研究会
H30. 7. 11	超小型パルスレーザー ユーザー説明会	浜松工業技術支援センター	111	内閣府 国立研究開発法人科学技術振興機構 自然科学研究機構分子科学研究所
H30. 8. 28	熱画像の測定の基礎	浜松工業技術支援センター	32	浜松機械技術研究会 浜松センター協議会
H30. 9. 10	表面技術協会中部支部浜松地区講演大会	浜松工業技術支援センター	61	表面技術協会中部支部 静岡県鍍金工業組合
H30. 9. 26 H31. 3. 28	2018年度浜松地域CFRP事業化研究会講演会	浜松工業技術支援センター	44 41	浜松地域CFRP事業化研究会 浜松地域イノベーション推進機構
H30. 10. 30	空気圧入門	浜松工業技術支援センター	20	浜松機械技術研究会 浜松機械技術研究会 浜松センター協議会
H30. 11. 9	はままつ超ハイテン研究会講演会2018『超ハイテン材料の開発動向と成形技術の最前線』	静岡新聞ホール	149	はままつ超ハイテン研究会
H30. 12. 6	EMCセミナー	浜松工業技術支援センター	36	浜松EMC研究会 浜松センター協議会
H31. 1. 17	ひずみ測定事例	浜松工業技術支援センター	15	浜松機械技術研究会 浜松センター協議会

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H31. 3. 8	日産自動車における品質工学の戦略的活用	浜松工業技術支援センター	112	浜松品質工学研究会 浜松機械技術研究会 浜松センター協議会
H31. 2. 15	X線残留応力測定技術セミナー	浜松工業技術支援センター	57	浜松センター協議会
実施回数 26回			参加者数 990人	

(カ) 講師活動

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

	活動回数	参加者数
工業技術研究所	23	1,072
沼津工業技術支援センター	14	749
富士工業技術支援センター	7	334
浜松工業技術支援センター	19	554
合計	63	2,709

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H30.5.17	JST新技術説明会	JST東京本部	300	(国研)科学技術振興機構	櫻川智史
H30.5.29	知的アイデアプレゼン大会	あざれあ	50	(公財)静岡県産業振興財団	前田研司
H30.6.19	工業技術研究所における企業支援	静岡県産業経済会館	28	(一社)静岡県発明協会	望月一男
H30.6.20	食品技術研修会	グランドホテル中島屋	97	静岡県食品技術研究会	太田良和弘
H30.6.20	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会 第1回講習会	工業技術研究所	31	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	多々良哲也 長澤 正
H30.7.11	県大講義(環境健康科学特論)	静岡県立大学	30	静岡県立大学	櫻川智史
H30.7.18			30		鈴木敬明
H30.7.25	静岡県プレス研究会 技術講演会	工業技術研究所	41	静岡県プレス研究会	松下五樹
H30.7.25	総合食品学講座	工業技術研究所	24	(公財)静岡県産業振興財団	杉本芳邦 渡瀬隆也 浅沼俊倫 松野正幸 三宅健司 袴田雅俊
H30.8.1			26		
H30.8.30			25		
H30.10.2			12		
H30.10.4			14		
H30.10.27	知的財産マッチングin 浜松	静岡大学	50	静岡大学	櫻川智史

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H30. 10. 30	未来アカデミー2018後継者育成講座	静岡県産業経済会館	20		櫻川智史
H30. 11. 2	技術講演会（めっきの基礎と仕組み）	富士工業技術支援センター	58	富士工業技術支援センター	綿野哲寛
H30. 11. 8	微生物検査の基礎実習	工業技術研究所	24	食品技術研究会	袴田雅俊
H30. 12. 14	6次産業化人材育成研修会加工機器実習	工業技術研究所	9	静岡県	渡瀬隆也 杉本芳邦 浅沼俊倫 松野正幸 三宅健司 袴田雅俊
H30. 12. 20	全学共通科目特別講義	静岡県立大学	70	静岡県立大学	渡瀬隆也
H31. 1. 30	産技連環境・エネルギー部会総会	東京都立産業技術総合研究センター	22	産技連環境エネルギー部会	室伏敬太
H31. 3. 9	機器分析講座	静岡理工科大	50	静岡理工科大	山下里恵
H31. 3. 20	IoTを支える要素技術	清水鉄工機械工業協同組合	17	清水鉄工機械工業協同組合	長谷川和宏
H31. 3. 15	色材セミナー2019『色の心理と設計への応用』	名古屋市工業研究所	44	(一社)色材協会中部支部	豊田敏裕
活動回数 23回			参加者数 1,072人		

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H30. 5. 14	「純米酒 サクラノカガヤキ」記者発表会	富士宮駅前交流センター「きらら」	30	富士錦酒造(株)	勝山 聡
H30. 5. 21	静岡県卸酒販組合研修会	ホテル プリヴェ 静岡ステーション	40	静岡県卸酒販組合	勝山 聡
H30. 6. 5	静岡県紙パルプ技術協会特別講演会	ホテルグランド富士	111	静岡県紙パルプ技術協会	勝山 聡
H30. 8. 4	オトナが学ぶ美味しい日本酒塾	三島本町タワービル	22	朝日テレビカルチャー（三島スクール）	勝山 聡
H30. 9. 6	誉富士セミナー	静岡大学 静岡キャンパス	34	静岡県誉富士普及推進協議会	勝山 聡
H30. 9. 7	静岡県成長産業分野人材育成支援事業 幾何公差（入門編）	沼津工業技術支援センター	5	沼津技術専門校	竹居 翼
H30. 9. 21	静岡県成長産業分野人材育成支援事業 幾何公差（実践活用編）	沼津工業技術支援センター	4	沼津技術専門校	飯野 修 本多正計

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H30. 11. 27	静岡理工科大学地域創成フォーラム	ホテルクラウンパレス浜松	167	静岡理工科大	竹居 翼
H30. 12. 4	平成30年度酒造講話会	静岡グランドホテル中島屋	31	静岡県酒造組合	勝山 聡 鈴木雅博
H30. 12. 5	静岡県バイオテクノロジー研究会企業発表会・講演会	静岡県男女共同参画センター「あざれあ」	25	静岡県バイオテクノロジー研究会	岩原健二
H30. 12. 10	静岡大学食品・生物産業創出拠点第49回研究会	アクトシティ浜松 コンgresセンター	55	静岡大学食品・生物産業創出拠点	勝山 聡
H31. 1. 20	グランディエールブケトーカーで誉富士を愛でる会	グランディエールブケトーカー	80	静岡県誉富士普及推進協議会 静岡県	勝山 聡
H31. 2. 26	第4回静岡クラフトビールの会	静岡パルシェ	36	静岡クラフトビールの会	勝山 聡 鈴木雅博 望月玲於
H31. 3. 4	第62回静岡県漁業協同組合女性部大会	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ	109	静岡県漁業協同組合女性部連合会	勝山 聡
活動回数 14回			参加者数 749人		

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H30. 5. 29	知財活用アイデアプレゼン大会	男女共同参画センター あざれあ	40	(公財)静岡県産業振興財団	高木 誠
H30. 6. 1	さなるmeetup	静岡大学高柳記念未来創造館	15	(公財)浜松科学技術研究振興会	高木 誠
H30. 7. 17	第三月曜会	富士商工会議所	55	富士商工会議所	佐野禎彦
H30. 8. 30- H30. 8. 31	中小企業等技術者研修 (製紙工学課程・中期)	富士工業技術支援センター	6	(一社)静岡県紙パルプ技術協会	深沢博之 齊藤和明 山口智久
H30. 9. 14	第206回木材科学委員会	紙パルプ会館	8	(一社)静岡県紙パルプ技術協会	齊藤将人
H31. 2. 1	ふじのくにCNFプロジェクト第3回技術講演会	工業技術研究所	64	ふじのくにCNFフォーラム	佐野禎彦
H31. 3. 6	「ふじのくにCNFフォーラム」第6回セミナー	ロゼシアター	146	ふじのくにCNFフォーラム	佐野禎彦
活動回数 7回			参加者数 334人		

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H30. 5. 23	第89回 レーザ加工学会講演会	大阪大学銀杏会館	40	(一社)レーザ加工学会	植田浩安
H30. 5. 28	パラメータ設計入門講座	浜松工業技術支援センター	12	浜松品質工学研究会	針幸達也
H30. 6. 7	デモンストレーションを見てわかる！レーザー入門セミナー	浜松工業技術支援センター	18	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	植田浩安 小松 剛 鷺坂芳弘 太田幸宏 中野雅晴
H30. 6. 14	経営システム工学	静岡大学	60	静岡大学	針幸達也
H30. 7. 11	マイクロチップレーザー試用プラットフォーム利用説明会	浜松工業技術支援センター	111	内閣府(国研)科学技術振興機構	鷺坂芳弘
H30. 7. 12	製造中核人材育成講座	浜松工業技術支援センター	34	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	伊藤芳典 鷺坂芳弘
H30. 9. 10	表面技術協会中部支部浜松地区講演大会	浜松工業技術支援センター	61	表面技術協会中部支部	吉岡正行
H30. 9. 14	成長分野人材育成支援事業講習会「3D-CAD&3Dプリンター活用法」	浜松工業技術支援センター	3	浜松技術専門校	伊藤芳典
H30. 9. 20	いわしん知的財産研究会	磐田信用金庫本店	38	磐田信用金庫	松田 稔
H30. 9. 27	成長分野人材育成支援事業講習会「TIG溶接と溶接部の試験・検査」	浜松工業技術支援センター	3	浜松技術専門校	伊藤芳典
H30. 9. 27-28 H30. 10. 4-5 H30. 10. 18-19	レーザー中核人材育成講座	浜松工業技術支援センター	23 23 23	学校法人光産業創成大学院大学	小松剛 鷺坂芳弘 太田幸宏 中野雅晴
H30. 11. 8	成長分野人材育成支援事業講習会「チタンとその加工技術」	浜松技術専門校	3	浜松技術専門校	植松俊明
H30. 11. 15	鍍金組合工場見学会	関東化学株式会社	32	浜松鍍金工業協同組合	田光伸也 望月智文
H30. 11. 27	静岡理工科大学地域創生フォーラム	ホテルクラウンパレス浜松	25	静岡理工科大学	岩澤 秀
H30. 12. 7	第105回 中部レーザー応用技術研究会講演会	名古屋市工業研究所	25	中部レーザー応用技術研究会	植田浩安
H31. 1. 15	表面処理及び異物分析に関する勉強会	東海交通機械株式会社浜松事業所	10	東海交通機械株式会社浜松事業所	吉岡正行
H31. 1. 16			10		望月智文
活動回数 19回			参加者数 554人		

(キ) 委員派遣

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	116	119
沼津工業技術支援センター	38	49
富士工業技術支援センター	43	47
浜松工業技術支援センター	76	76
合計	273	291

a 平成30年度

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	委員会等の名称	会場	主催	派遣者氏名
H30. 4. 1- H31. 3. 31	静岡県立大学連携大学院客員准教授	静岡県立大学	静岡県立大学	櫻川智史
H30. 4. 1- H31. 3. 31	静岡県立大学連携大学院客員准教授	静岡県立大学	静岡県立大学	鈴木敬明
H30. 4. 13	地域商工行政推進協議会	もくせい会館	地域商工行政推進協議会	望月一男
H30. 4. 18	シンポジア'18実行委員会	第1回 浜松市福祉交流センター	(一社)プラスチック成形加工学会	田村克浩
H30. 7. 24		第2回 ザザシティ浜松中央館		
H30. 4. 20 H30. 5. 25 H30. 6. 26 H30. 8. 22	静岡地域コーディネータ会議	静岡市産学交流センター	静岡産業振興協会	櫻川智史
H30. 4. 25 H30. 5. 29 H30. 10. 23 H31. 2. 8	新成長産業戦略的育成事業事業推進委員会	静岡県産業経済会館	静岡県	望月一男
H30. 5. 11	(一社)プラスチック成形加工学会東海支部運営委員会	デンソー名古屋オフィス	(一社)プラスチック成形加工学会東海支部	田村克浩
H30. 7. 27		JSOL名古屋支社		
H30. 10. 12		デンソー名古屋オフィス		
H30. 12. 7 H31. 2. 15				

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H30. 5. 18	(一社)プラスチック成形加工学会理事会	東京工業大学	(一社)プラスチック成形加工学会	田村克浩
H30. 11. 26		グランドホテル浜松		
H31. 3. 5		五反田文化会館		
H30. 5. 23	静岡県環境保全協会 第47回定時総会	もくせい会館	静岡県環境保全協会	宮原鐘一
H30. 5. 24	経営革新計画促進事業費補助金審査会	県庁	静岡県	望月一男
H30. 5. 25		静岡県産業経済会館		
H30. 6. 14				櫻川智史
H30. 6. 15				
H30. 6. 19				望月一男
H30. 6. 20				
H30. 10. 5				
H30. 10. 9				
H30. 12. 11				
H30. 5. 26	日本塗料検査協会評議委員会	恵比寿ガーデンプレイス	(一社)日本塗料検査協会評議委員会	渡邊雅之
H31. 3. 28				
H30. 5. 30	しずおかKAGUメッセSGFコンテスト審査委員会	ツインメッセ	静岡県家具工業組合	多々良哲也
H30. 5. 31	食品等開発助成事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	田中伸佳
H30. 6. 1	静岡市産学連携委託事業審査会	静岡市産学交流センター	静岡産業振興協会	櫻川智史
H30. 6. 12				
H30. 6. 1	(一社)プラスチック成形加工学会東海支部総会	愛知県産業労働センター	(一社)プラスチック成形加工学会東海支部	田村克浩
H30. 6. 5	次世代無人航空機開発・実証業務委託企画提案方式選定委員会	県庁	次世代無人航空機開発・実証業務委託企画提案方式選定委員会	望月一男
H30. 6. 5	ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金地域採択審査委員会	静岡県産業経済会館	静岡県中小企業団体中央会	望月一男
H30. 6. 5	ISO/TC 213グループC国内委員会	日本規格協会	日本規格協会	柳原 亘
H30. 7. 26				
H30. 8. 30				
H30. 11. 13				
H31. 2. 26				
H30. 6. 6	新成長産業戦略的育成事業助成金 審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	望月一男
H30. 8. 2				
H30. 6. 6	静岡県環境資源協会 平成30年度定時総会	静岡県産業経済会館	(一社)静岡県環境資源協会	宮原鐘一

年月日	委員会等の名称		会 場	主 催	派遣者氏名
H30. 6. 6	技能検定		労政会館	静岡県職業能力開発協会	渡邊雅之
H30. 7. 8	技能検定（噴霧塗装）		丸山コーポレーション		
H30. 8. 11 H30. 8. 12 H30. 8. 13	技能検定		清水技術専門学校		
H30. 6. 12	静岡エネルギー・環境懇談会 総会		ホテルアソシア静岡	静岡エネルギー・環境懇談会	望月一男
H30. 6. 19	平成30年度戦略的基盤技術高度化支援事業 研究開発推進委員会	第1回	静岡製機株式会社技術センター	(公益)浜松地域イノベーション推進機構	岡本哲志 田中伸佳 宮原鐘一
H31. 2. 25		第2回	(公財)浜松地域イノベーション推進機構		岡本哲志
H30. 6. 20	静岡県食品産業協議会通常総会		中島屋グランドホテル	静岡県食品産業協議会	望月一男
H30. 6. 21	(一社)プラスチック成形加工学会総会		タワーホール船堀	(一社)プラスチック成形加工学会	田村克浩
H30. 6. 27 H30. 12. 11	メラノブシン神経細胞の光符号化に関する研究調査委員会		照明学会第一会議室(東京都)	一般社団法人照明学会	豊田敏裕
H30. 6. 28	先端企業育成プロジェクト事業化推進助成事業 審査会		静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	望月一男
H30. 6. 28	静岡県環境ビジネス協議会平成30年度総会		あざれあ	静岡県環境ビジネス協議会	宮原鐘一
H30. 6. 29 H30. 8. 30	職業能力開発短期大学校カリキュラム研究委員会		清水技術専門学校	静岡県	岩崎清斗
H30. 7. 10 H31. 2. 1	ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金情報連絡会議		浮月楼 ホテルセンチュリー静岡	静岡県中小企業団体中央会	望月一男
H30. 7. 17	静岡市新商品開発事業審査委員		ツインメッセ静岡	静岡市	鈴木敬明
H30. 7. 17	「30歳になったら静岡県！」ロゴマーク選定委員会		県庁	静岡県	大賀久美
H30. 7. 18	デザイン研修会等開催事業業務企画提案審査委員会		県庁	静岡県	田中伸佳
H30. 7. 27 H30. 12. 18	照明シミュレーションのためのプラットフォーム整備に関する研究調査委員会		大塚電子株式会社 照明学会第一会議室	一般社団法人照明学会	豊田敏裕
H30. 7. 31	静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会 設立総会		レイアップ御幸町ビル	静岡県経済産業部産業革新局	太田良和弘 増井裕久

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H30. 8. 30 H30. 12. 20 H31. 2. 28	色材協会中部支部運営委員会	名古屋市工業研究所	一般社団法人 色材協会中部支部	長澤 正
H30. 8. 23 H31. 3. 19	農業ロボット開発事業費補助金審査委員会	静岡県産業経済会館 県庁	静岡県	望月一男
H30. 8. 28 H30. 9. 25	2018グッドデザインしずおか 1次審査会 2次審査会	県庁	静岡県	望月一男
H30. 9. 12 H30. 11. 15	可能性調査審査会	静岡県産業経済会館	(一社)ふじのくに医療城下町推進機構	田中伸佳
H30. 9. 11	平成30年度次世代自動車技術革新対応促進助成事業(2次)審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	望月一男
H30. 9. 14	日本木材加工技術協会中部支部理事会	愛知県産業労働センター	公益社団法人 日本木材加工技術協会中部支部	長澤 正
H30. 9. 20 H30. 11. 14	シンポジウム'18ローカル実行委員会	グランドホテル浜松	(一社)プラスチック成形加工学会	田村克浩
H30. 9. 23 H30. 11. 4 H30. 12. 23 H31. 1. 20	静岡県介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会	静岡市葵区昭和町9-5 第2大石ビル8階	(公財)静岡県作業療法士会	易 強
H30. 9. 28	平成30年度中部公設試研究機関機関長会	愛知県産業労働センター	中部公設試権研究機関機関長会	望月一男
H30. 10. 4	県科学技術振興表彰審査会	県庁	静岡県	望月一男
H30. 10. 4	静岡市地域経済牽引事業促進協議会	静岡市役所	静岡市	望月一男
H30. 10. 12	平成29年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金 第2回地域採択審査委員会	静岡県産業経済会館	静岡県中小企業団体中央会	望月一男
H30. 10. 15	静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会 ビジネスマッチング交流会	静岡コンベンションアーツセンターグラウンシップ 6階 交流ホール	静岡県経済産業部 産業革新局	太田良和弘
H30. 10. 17	2018発明くふう展審査	産業経済会館	静岡県発明協会	大賀久美
H30. 10. 18	静岡地域産学連携CD会議	県内企業 (IAI)	静岡市	櫻川智史
H30. 10. 26	テクノブリッジフェア2018inつくば	産総研	産総研	櫻川智史

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H30. 10. 29	静岡市中小企業技術表彰専門委員会委員	静岡市役所清水支所	静岡市	鈴木敬明
H30. 11. 12	2018グッドデザインしずおか表彰式及び意見交換会	コミュニティーホール七間町MIRAIE	静岡県	望月一男
H30. 11. 12	先進的農業推進協議会	静岡大学	静岡県	櫻川智史
H30. 11. 21 H30. 12. 20 H31. 1. 24 H31. 3. 5	経営革新計画承認審査	県庁	静岡県	櫻川智史
H30. 11. 26	マリンバイオ産業振興ビジョン検討協議会	マナーハウス・エリザベート	静岡県	望月一男
H30. 12. 25 H31. 3. 15		ホテルアソシア静岡		
H30. 11. 29	焼津水産ブランド審査会	焼津商工会議所	焼津商工会議所	田中伸佳
H30. 12. 18	郷土工芸品認定協議会	県庁	静岡県	櫻川智史
H30. 12. 18 H31. 2. 4	静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会 地域自立システム型植物バイオマス利活用グループワーキング	アクトシティ浜松研修交流センター	静岡県	太田良和弘
H31. 2. 24	第7回「しずぎん起業家大賞」プレゼン審査会	静岡銀行研修センター	静岡銀行	望月一男
H31. 2. 25	「AOI-PARC」ロゴマーク審査委員会	県庁	静岡県	大賀久美
H31. 2. 28	静岡市福祉用具普及連絡会	城東町・リハパーク	静岡市	多々良哲也
H31. 3. 26	平成31年度敬老の日記念事業百歳到達者の記念品選考委員会	しずウエル	静岡県	長澤 正
H31. 3. 28	静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会 ワーキンググループ報告会	静岡県男女共同参画センターあざれあ	静岡県	太田良和弘
派遣回数 116回			派遣人数(延べ)	119人

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H30. 4. 18 H30. 6. 20	富士山麓産業支援ネットワーク会議	ファルマバレーセンター	富士山麓産業支援ネットワーク会議	飯塚千佳世
H30. 7. 18		AOI-PARC		
H30. 9. 26		ファルマバレーセンター		
H31. 2. 27 H31. 3. 20				
H30. 4. 23	地域商工行政推進協議会	三島商工会議所	静岡県	山本寛人
H30. 4. 24- H30. 4. 26	平成29酒造年度全国新酒鑑評会審査委員会	独立行政法人酒類総合研究所	独立行政法人酒類総合研究所	勝山 聡
H30. 4. 25	静岡県東部精密技術研究会役員会	沼津工業高等専門学校	静岡県東部精密技術研究会	三浦 清 飯野 修
H30. 10. 31				飯野 修
H30. 5. 16- H30. 5. 18	SAKE COMPETITON 2018	東京都立産業貿易センター	SAKE COMPETITON 実行委員会	勝山 聡
H30. 5. 25	静岡県誉富士普及推進会議幹事会	(書面)	静岡県	山本寛人
H30. 6. 1	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	日本大学国際関係学部	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	飯塚千佳世
H30. 8. 29 H30. 10. 22		静岡県立大学		
H30. 11. 20		ふじさんめっせ		
H30. 6. 6 H30. 9. 3	静岡県創業者育成施設更新事前審査	沼津インキュベーターセンター	静岡県	三浦 清 飯塚千佳世
H30. 6. 8	静岡化学工学懇話会総会	静岡県農林技術研究所	静岡化学工学懇話会	三浦 清
H30. 6. 13	東海酒類研究会総会	三重県酒造組合	東海酒類研究会	鈴木雅博
H30. 6. 19	静岡県発明協会総会	静岡県産業経済会館	静岡県発明協会	山本寛人
H30. 7. 12	沼津市地域資源活用開発支援事業審査会	沼津市役所	沼津市	山本寛人
H30. 8. 2	静岡県東部地域技術振興協議会総会	プラサヴェルデ	静岡県東部地域技術振興協議会総会	山本寛人
H30. 8. 7	西部地区のみきり	醍醐荘	静岡県酒造組合	勝山 聡 鈴木雅博

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H30. 9. 19	東部地区のみきり	沼津工業技術支援センター	静岡県酒造組合	勝山 聡 鈴木雅博
H30. 9. 25	ぬまづ技能マイスター及びぬまづITマイスター認定審査会	沼津商工会議所	沼津商工会議所	三浦 清
H30. 10. 4	静岡県科学技術表彰選考委員会	県庁	静岡県	山本寛人
H30. 9. 28	平成30年度名古屋国税局酒類鑑評会品質評価会	名古屋国税局鑑定官室	名古屋国税局	鈴木雅博
H30. 10. 2- H30. 10. 3				勝山 聡
H30. 10. 3	東海酒類研究会役員会	名古屋国税局鑑定官室	東海酒類研究会	勝山 聡
H30. 10. 12	全国酒造技術指導機関合同会議	中央合同庁舎第4号館	国税庁	勝山 聡
H30. 11. 20	ぬまづ技能マイスター認定式、ぬまづITマイスター認定式	プラサ ヴェルデ	沼津商工会議所	山本寛人
H30. 11. 28	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア2018	ふじさんめっせ	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	飯塚千佳世
H31. 3. 8	静岡県杜氏研究会新酒研究会	もくせい会館	静岡県杜氏研究会	勝山 聡 鈴木雅博
H31. 3. 12	静岡県清酒鑑評会	沼津工業技術支援センター	静岡県酒造組合	山本寛人 勝山 聡 鈴木雅博
H31. 3. 14	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	ファルマバレーセンター	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	山本寛人
H31. 3. 19	平成30酒造年度新酒持寄り技術相談会	名古屋国税局	名古屋国税局	勝山 聡 鈴木雅博
H31. 3. 26	静岡県清酒鑑評会表彰式	もくせい会館	静岡県酒造組合	山本寛人 勝山 聡 鈴木雅博
派遣回数 38 回			派遣人数 (延べ)	49 人

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H30. 4. 18	静岡県紙パルプ技術協会運営委員会	ホテルグランド富士	(一社)静岡県紙パルプ技術協会	佐野禎彦
H30. 4. 19	静岡県創業者育成施設入居審査委員会	静岡県庁	静岡県	佐野禎彦
H30. 4. 23	地域商工行政推進協議会	三島商工会議所	静岡県	佐野禎彦
H30. 5. 8	富士山麓医療関連機器製造業者等交流会 運営会議	富士市役所	富士市	中山 洋
H30. 5. 10 H30. 8. 17 H30. 12. 13 H31. 3. 14	静岡県紙パルプ技術協会理事会	ホテルグランド富士	(一社)静岡県紙パルプ技術協会	佐野禎彦
H30. 5. 15 H30. 7. 20	紙パルプ技術協会木材科学委員会	紙パルプ会館	紙パルプ技術協会	佐野禎彦
H30. 5. 18	機能紙研究会 理事会	大阪商工会議所	特定非営利活動法人機能紙研究会	大川勝正
H30. 5. 29	富士市工業振興会議	富士市役所	富士市	佐野禎彦
H30. 5. 29	富士の特産品（紙・茶・桜）連携推進会議	富士市役所	富士市	佐野禎彦
H30. 6. 1 H30. 8. 17	富士ブランド推進会議	富士商工会議所	富士商工会議所	佐野禎彦 大川勝正
H30. 6. 1- H31. 3. 31	静岡県立大学客員共同研究員	静岡県立大学	静岡県立大学	中山 洋
H30. 6. 7 H30. 9. 6	富士市立博物館協議会	富士山かぐや姫ミュージアム	富士市立博物館	佐野禎彦
H30. 6. 8 H30. 7. 20	C N F活用試作品開発事業費補助金に係る審査委員会	静岡県庁	静岡県	佐野禎彦
H30. 6. 12	富士マイスター選定委員会	富士市役所	富士市	佐野禎彦
H30. 6. 13- H30. 6. 14	地域イノベーションコーディネータ会議	産総研つくばセンター	国立研究開発法人産業技術総合研究所	大川勝正
H30. 6. 27 H30. 10. 10 H30. 12. 19 H31. 2. 27	「紙パルプの技術」編集委員会	ホテルグランド富士	一般社団法人 静岡県紙パルプ技術協会	佐野禎彦 木野浩成
H30. 8. 2	富士市セルロースナノファイバー関連産業推進構想策定会議	富士市富士駅北まちづくりセンター	富士市	佐野禎彦

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H30. 8. 9	富士山麓医療関連機器製造業者等交流会 運営会議	富士駅北まちづくりセンター	富士市	中山 洋
H30. 12. 12		富士市交流センター		
H31. 3. 12		富士市役所		
H30. 8. 17	「富士ブランド認定品」評価会	富士商工会議所	富士商工会議所	佐野禎彦
H30. 9. 28	平成30年度中部公設試権研究機関機関長会	愛知県産業労働センター	中部公設試権研究機関機関長会	佐野禎彦
H30. 10. 4	県科学技術振興表彰審査会	県庁	静岡県	佐野禎彦
H31. 10. 5	富士市工業振興会議	富士市役所	富士市	佐野禎彦
H30. 10. 19 H30. 12. 27 H31. 2. 6	富士市CNF関連産業推進構想策定会議	富士市役所	富士市	佐野禎彦
H30. 10. 25	テクノブリッジフェア2018inつくば	産総研 つくば中央	産総研	大川勝正
H30. 11. 14- H30. 11. 15	第57回機能紙研究会	大阪商工会議所	特定非営利活動法人機能紙研究会	佐野禎彦 深沢博之
H31. 2. 21	富士市工業振興会議	富士市役所	富士市	佐野禎彦
H31. 3. 14	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	ファルマバレーセンター	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	佐野禎彦
H31. 3. 16	木材学会パルプ紙研究会	函館アリーナ	木材学会パルプ紙研究会	深沢博之
派遣回数 43 回			派遣人数 (延べ)	47 人

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H30. 4. 17 H30. 5. 15 H30. 6. 19 H30. 7. 17 H30. 9. 18 H30. 10. 16 H30. 11. 13	HFP第1-8回定例会	浜松商工会議所会館	(一社)静岡県繊維協会	鈴木一之
H30. 4. 19	静岡県創業者育成施設入居審査委員会	静岡県庁	静岡県	田中孝彦
H30. 4. 25	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点第60回事業運営委員会ワーキング会議	浜松医科大学	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	植田浩安
H30. 4. 27 H30. 5. 30	一般社団法人電線総合技術センター第93-94回電気用品適合性評価委員会	電線総合技術センター	(一社)電線総合技術センター	松田 稔
H30. 5. 18	先端精密技術研究会総会	浜松商工会議所会館	先端精密技術研究会	渥美博安
H30. 5. 24 H31. 3. 26	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点平成30年度第1-2回事業運営委員会	浜松商工会議所会館	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	小松 剛
H30. 6. 12	鋳造工学会東海支部幹事会	ヤマハ発動機株式会社	(公財)日本鋳造工学会	岩澤 秀
H30. 6. 12 H30. 9. 18 H30. 11. 13 H31. 1. 22 H31. 3. 13	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点第61-65回事業運営委員会ワーキング会議	浜松医科大学	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	小松 剛
H30. 6. 14	はままつ知財研究会総会	アクトシティ浜松研修交流センター	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	田中孝彦
H30. 6. 15 H30. 10. 25 H31. 2. 22	レーザー中核人材平成30年度第1-3回企画委員会	静岡県浜松総合庁舎	光産業創成大学院大学	鷺坂芳弘
H30. 6. 21	国内事業化可能性調査費補助金審査会	浜松商工会議所会館	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	田中孝彦

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H30. 6. 27 H30. 7. 4 H30. 7. 20 H30. 8. 20 H30. 8. 24 H30. 9. 21 H30. 10. 3 H30. 10. 9 H30. 10. 16 H30. 11. 19 H30. 11. 20 H30. 12. 17 H31. 1. 14 H31. 1. 21 H31. 2. 15 H31. 2. 25 H31. 3. 1 H31. 3. 8 H31. 3. 15 H31. 3. 28	一般社団法人電線総合技術センター第1-20回適合性評価委員会	電線総合技術センター	(一社)電線総合技術センター	松田 稔
H30. 7. 6 H30. 11. 16 H31. 1. 31	レーザー照射による構造物鋼材表面処理の評価基準JIS原案作成委員会・分科会	日本規格協会	(一社)日本規格協会規格開発ユニット	伊藤芳典
H30. 8. 3 H30. 10. 19 H30. 12. 20 H31. 2. 19		港区立男女共同参画センター		
H30. 7. 10 H30. 11. 2 H31. 3. 8	第1-3回浜松市公共用水域等色汚染対策協議会	浜松市保健環境研究所	浜松市公共用水域等色汚染対策協議会	鈴木一之
H30. 7. 11	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 平成30年医工連携スタートアップ支援事業 審査委員会	遠鉄百貨店	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	松田 稔
H30. 7. 12	ライトメタル部会第37回サマーセミナー	工学院大学	(一社)表面技術協会ライトメタル表面技術部会	田光伸也
H30. 8. 7	産学官金連携課題解決プロジェクト推進事業一次審査会	静岡大学	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	田中孝彦
H30. 8. 7	浜松地域産業支援ネットワーク会議委員会	みその千とせ店	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	田中孝彦
H30. 8. 9 H30. 9. 26	光・電子技術活用促進事業費補助金審査委員会	静岡大学イノベーション社会連携推進機構	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	松田 稔

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H30. 8. 27	国内事業化可能性調査費補助金審査会	浜松商工会議所会館	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	田中孝彦
H30. 10. 4	静岡県科学技術振興表彰選考委員会	静岡県庁	静岡県	田中孝彦
H30. 10. 18	静岡県創業者育成施設入居審査委員会	静岡県庁	静岡県	田中孝彦
H30. 10. 24	内閣府ImPACT運営会議	自然科学研究機構分子科学研究所	(国研)科学技術振興機構	鷺坂芳弘
H30. 12. 17	成形部会	有限会社見野金型製作所	はままつ超ハイテック研究会	長津義之
H30. 12. 18	浜松ものづくりマイスター選考委員会	浜松市役所	浜松市	田中孝彦
H30. 12. 25	製造中核人材育成講座運営委員会	浜松商工会議所会館	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	伊藤芳典
H31. 3. 19	はままつ知財研究会幹事会	浜松商工会議所会館	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	田中孝彦
H31. 3. 20	ImPACT運営会議	科学技術振興機構	(国研)科学技術振興機構	鷺坂芳弘
H31. 3. 22	産学官金連携イノベーション推進事業採択審査会	静岡大学	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	田中孝彦
H31. 3. 26	先端精密技術研究会幹事会	ホテルヴィラくれたけ	先端精密技術研究会	渥美博安
H31. 3. 28	国内事業化可能性調査費補助金成果報告会	浜松商工会議所会館	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	田中孝彦
H31. 3. 29	日本鑄造工学会軽合金部会	東京工業大学	(公財)日本鑄造工学会	岩澤 秀
H31. 3. 1	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 平成30年医工連携スタートアップ支援事業成果報告会	浜松アクトタワーカンファレンスセンター	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	松田 稔
H31. 3. 25	光・電子技術活用促進事業費補助金成果審査会	静岡大学イノベーション社会連携推進機構	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	松田 稔
派遣回数 76回			派遣人数(延べ)	76人

(ク) 産業技術連携推進会議等への派遣

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	32	44
沼津工業技術支援センター	5	7
富士工業技術支援センター	7	10
浜松工業技術支援センター	10	14
合計	54	75

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	会議等の名称	会場	主催	派遣者氏名
H30. 6. 6	中部イノベネット運営委員会	名古屋栄ビルディング	中部イノベネット	櫻川智史
H30. 6. 13- H30. 6. 14	地域イノベーションコーディネーター会議	産総研つくばセンター	産総研	櫻川智史
H30. 6. 27- H30. 6. 29	産技連 ライフサイエンス部会第23回 デザイン分科会	北海道立総合研究機構本部道総研プラザ セミナールーム他	産技連ライフサイエンス部会	多々良哲也
H30. 7. 3	産技連 東海北陸地域産技連	愛知県産業労働センター	産技連議東海北陸地域産技連	望月一男
H30. 7. 17	TKFオープンフォーラム	ポートプラザちば	TKF	増井裕久
H30. 7. 26- H30. 7. 27	第91回公立鉦工業試験研究機関長協議会	静岡県総合研修所もくせい会館	公立鉦工業試験研究機関長協議会	望月一男 櫻川智史
H30. 10. 19	TKF/MTEP会議	(地独) 東京都立産業技術研究センター	TKF/MTEP	望月一男 油上 保
H30. 10. 19	産技連 東海・北陸地域部会情報・電子デバイス分科会	富山県民会館	富山県産業技術研究開発センター 機械電子研究所	長谷川和宏
H30. 10. 25	第1回知的財産管理活用に関する研究会	富山県産業技術研究開発センター	中部経済産業局	増井裕久
H30. 10. 26	テクノブリッジ in つくば	産総研つくばセンター	産総研	櫻川智史
H30. 10. 30	産技連 関東甲信越静岡地域部会・製造技術分科会合同総会	ホテルメトロポリタン長野	産技連	望月一男
H30. 10. 31	産技連 高分子分科会関東地区連絡会議	(地独) 東京都立産業技術研究センター	(地独) 東京都立産業技術研究センター	菅野尚子
H30. 11. 1- H30. 11. 2	産技連製造プロセス部会塗装工学分科会	マイホテル竜宮	産技連	望月一男
H30. 11. 1	産技連製造プロセス部会IoTものづくり分科会	神奈川県産業技術総合研究所	産技連	櫻川智史 増井裕久

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H30. 11. 1	全国食品技術研究会	つくば国際会議場	農研機構食品研究部門	袴田雅俊
H30. 11. 2	産技連 製造プロセス部会 塗装工学分科会	マイホテル竜宮	産技連	渡邊雅之
H30. 11. 15	産技連 ナノテクノロジー・材料部会第56回高分子分科会	宮城県産業技術総合センター	産技連産ナノテクノロジー・材料部会高分子分科会	本間信行
H30. 11. 15	産技連 ライフサイエンス部会第24回 デザイン分科会	埼玉県立近代美術館	産技連ライフサイエンス部会	大賀久美
H30. 11. 15- H30. 11. 16	第109回全国鈹工業試験研究機関事務連絡会議	アオッサ(福井市)	全国鈹工業試験研究機関事務連絡会議	橋本充夫 油上 保
H30. 11. 29- H30. 11. 30	産技連 東海・北陸地域部会機械・金属分科会	高岡市生涯学習センター	富山県産業技術研究開発センター ものづくり研究開発センター	長谷川和宏
H30. 12. 6	知的基盤部会形状計測研究会	山形テルサ	産技連知的基盤部会	柳原 亘 豊田敏裕 志智 亘
H30. 12. 14	全国公設鈹工業試験研究機関事務連絡会議関東甲信越静岡ブロック会議	埼玉県産業技術総合センター	全国公設鈹工業試験研究機関事務連絡会議	石神崇彦 大長弘幸
H31. 1. 17	MTEP-RoHSパートナーグループ会議	(地独) 東京都立産業技術研究センター	(地独) 東京都立産業技術研究センター	岡本哲志
H31. 1. 18	TKF/MTEP会議	埼玉県産業技術総合センター	TKF/MTEP	望月一男 増井裕久
H31. 1. 23	産技連関東甲信越静岡地域部会 食品・バイオ部会	産総研臨海センター	産技連	望月一男 杉本芳邦 松野正幸 袴田雅俊
H31. 1. 30	産技連環境・エネルギー部会総会	(地独) 東京都立産業技術研究センター	産技連環境・エネルギー部会	室伏敬太
H31. 2. 4- H31. 2. 5	産総研IC会議	産総研臨海副都心センター	産総研	櫻川智史
H31. 2. 6- H31. 2. 7	産技連製造プロセス部会総会	産総研つくばセンター	産技連	櫻川智史
H31. 2. 14- H31. 2. 15	全国食品関係試験研究場所長会総会	つくば国際会議場	全国食品関係試験研究場所長会	望月一男
H31. 2. 14- H31. 2. 15	食品試験研究推進会議	つくば国際会議場	農研機構	望月一男 杉本芳邦
H31. 3. 5	第2回知的財産管理活用に関する研究会	名古屋市工業研究所	中部経済産業局	増井裕久
派遣回数 32回			派遣人数(延べ)	44人

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研)産業技術総合研究所
TKF：首都圏テクノナレッジフリーウェイ
MTEP：広域首都圏輸出製品技術支援センター
農研機構：(国研)農業・食品産業技術総合研究機構

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H30. 7. 3	産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会 合同会議	愛知県産業労働センター	東海北陸地域産技連、東海・北陸地域部会	山本寛人
H30. 7. 26- H30. 7. 27	第91回公立鉦工業試験研究機関長協議会総会	静岡県総合研修所もくせい会館	公立鉦工業試験研究機関長協議会	山本寛人 勝山 聡 鈴木雅博
H30. 9. 28	中部公設試験研究機関長会	愛知県産業労働センター	中部科学技術センター	山本寛人
H31. 1. 23	産技連関東甲信越静地域部会 食品・バイオ部会	産総研臨海センター	産技連	岩原健二
H31. 2. 19	第59回産技連総会	トラストシティ カンファレンス・丸の内	産技連	山本寛人
派遣回数 5 回			派遣人数 (延べ) 7 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H30. 6. 7- H30. 6. 8	産技連表面技術分科会	大阪市中央区KKRホテル大阪	産技連	高木 誠
H30. 7. 3	産技連 東海北陸地域産業技術連携推進会議 産技連 東海北陸地域部会総会	愛知県産業労働センター	産技連 東海北陸地域産業技術連携推進会議 産技連 東海北陸地域部会総会	佐野禎彦
H30. 7. 26- H30. 7. 27	公立鉦工業試験研究機関長協議会	静岡県総合研修所もくせい会館	公立鉦工業試験研究機関長協議会	佐野禎彦
H30. 10. 30. - H30. 10. 31	産技連 関東甲信越静地域産技連・関東甲信越静地域部会 合同総会	ホテルメトロポリタン長野	産技連 関東甲信越静地域産技連 産技連 関東甲信越静地域部会	佐野禎彦
H30. 11. 21- H30. 11. 22	ナノテクノロジー・材料部会 紙・パルプ分科会	福井県工業技術センター	岐阜県産業技術センター	佐野禎彦 木野浩成 深沢博之 齊藤将人
H30. 12. 14	全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議関東甲信越静ブロック会議	埼玉県産業技術総合センター	全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議	吉田光廣
H31. 2. 19	産技連 総会	トラストシティ カンファレンス・丸の内	産技連	佐野禎彦
派遣回数 7 回			派遣人数 (延べ) 10 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H30. 5. 14	産技連 ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会東海地域連絡会総会	岐阜県産業技術センター	産技連ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会東海地域連絡会	鈴木一之 鈴木重好
H30. 7. 3	産技連 東海北陸地域産技連、東海・北陸地域部会総会合同会議	愛知県産業労働センター	産技連東海北陸地域産技連、東海・北陸地域部会総会	田中孝彦
H30. 7. 26- H30. 7. 27	公立鈷工業試験機関長協議会総会	静岡県総合研修所もくせい会館他	公立鈷工業試験研究機関長協議会	田中孝彦
H30. 9. 28	中部公設試験研究機関長会	愛知県産業労働センター	中部科学技術センター	田中孝彦
H30. 10. 30- H30. 10. 31	関東甲信越静岡地域産技連及び産技連関東甲信越静岡地域部会	ホテルメトロポリタン長野	関東甲信越静岡地域産技連推進会議	田中孝彦
H30. 12. 6	産技連 ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会東海地域連絡会繊維技術研究会	あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター	産技連ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会東海地域連絡会	鈴木一之 森田達弥
H31. 2. 19	産技連総会	トラスティシティ丸の内	産技連	田中孝彦
H31. 1. 11	産技連 知的基盤部会電磁環境分科会第16回関東甲信越静岡EMC研究交流会	浜松工業技術支援センター	浜松工業技術支援センター	山田浩文 渥美博安 松田 稔
H31. 1. 17	地域オープンイノベーション促進事業（航空）に係る連絡委員会（第6回）	新潟県工業技術総合研究所	新潟県工業技術総合研究所	松田 稔
H31. 3. 12	平成30年度デジタルものづくり研究会～デザインワークショップ～	日本会議室名古屋駅前店	中部経済産業局	菊池圭祐
派遣回数 10 回			派遣人数（延べ）	14 人

注) 産技連：産業技術連携推進会議

(ケ) 学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	学会等発表回数 (ポスター発表含む)	学会誌等投稿	一般誌投稿	展示会出展
工業技術研究所	22	1	1	13
沼津工業技術支援センター	2	1	1	3
富士工業技術支援センター	3	3	2	13
浜松工業技術支援センター	11	4	3	8
合計	38	9	7	37

(a) 工業技術研究所の実績 (※はポスター発表)

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
H30.6.2	介護動作における筋電位と腰部負担の要因の関係	日本人間工学会第59回大会	日本人間工学会第59回大会要旨集	大賀久美
H30.6.3	腰の筋負担評価に基づく介護動作教育指導システムの開発 中小企業の製品開発への人間工学技術支援事例			易 強
H30.6.7	地域密着型CAEの取り組みー公設試験研究機関のCAE活用最新動向ー製品開発支援のため物理データに基づく光学・照明シミュレーション	日本計算工学会第23回計算工学講演会	第23回計算工学講演会論文集	鈴木敬明
H30.6.9	セメント系材料へのセルローズナノファイバーの添加効果	無機マテリアル学会第136回講演会	—	村松重緒
H30.6.28	デザイン×福祉×人間工学の紹介※	平成30年度産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会第23回 デザイン分科会	—	多々良哲也

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
H30. 7. 6	セルロースナノファイバーの添加による香りの放散特性*	セルロース学会第25回 年次大会	—	石橋佳奈
H30. 7. 7	CNF包含紙の圧電温度特性について*		—	櫻川智史
H30. 9. 7	新たな食感を持つ乾燥こんにゃく素材の開発*	シーズ&ニーズビジネス マッチング研究発表会	研究発表会要旨集	三宅健司
H30. 9. 13	メラミンフォームとグラスウールの非音響パラメータと音響特性の比較	2018年日本音響学会秋 季研究発表会	2018年日本音響学会 秋季研究発表会講演 論文集	木野直樹
H30. 10. 20	森林認証材を使用したダボの開発*	日本木材加工技術協会 第36回年次大会	—	藤浪健二郎
H30. 10. 26	塗料へのCNF添加の検討*	2018年度日本木材学会 中部支部大会	—	渡邊雅之
H30. 10. 31	赤外分光イメージングによる課題解決事例	平成30年度産技連高 分子分科会関東地区連絡 会議	—	菅野尚子
H30. 11. 7	Cellulose nanofibers effect on sustained release behavior of fragrance components*	日米木質科学国際会議2 018	—	石橋佳奈
H30. 11. 8	Adhesive Properties of Cellulose Nanofibers added Poly(vinyl acetate) *		—	前田研司
H30. 11. 15	プラスチックペレットに適した水分測定法の検討ーカールフィッシャー測定法の適応事例ー	産技連ナノテクノロジー・材料部会第56回高 分子分科会	—	本間信行
H30. 12. 18	差分累積値に基づく農業環境データの可視化分析法	情報処理学会第121回数 理モデル化と問題解決 発表会	—	岩崎清斗
H31. 3. 8	食品廃棄物のメタン発酵処理における菌叢変遷の解析と発酵管理指標の探索*	第53回日本水環境学会 年会	—	室伏敬太
H31. 3. 15	加熱による傾斜組成キチン薄膜の自己スクロールを利用したマイクロチューブ作製と形成機構の解明*	第69回日本木材学会	—	菅野尚子 田村克浩
H31. 3. 17	セルロースナノファイバーによる香り徐放性の挙動解析*	日本化学会第99春季大 会	—	石橋佳奈
H31. 3. 17	CNFを添加した酢酸ビニル樹脂エマルジョンの接着性能*	日本化学会第99春季大 会	—	前田研司
H31. 3. 19	XAFSを利用したFe-Mo合金めっきの開発	第139回講演大会	(一社)表面技術協会	綿野哲寛

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
学会誌及び専門誌への投稿				
H30. 7. 26	多項分布型レジームスイッチング検出による周期的時系列データの単純化	—	情報処理学会論文誌 数理モデル化と応用 (TOM) 11巻2号	岩崎清斗
一般誌等への投稿				
	柑橘の香りを生かした新しい製品開発		柑橘第71巻第3号	山下里恵
展示会への出展				
H30. 5. 23	—	いわしん・とおとうみ 『食』の個別商談会	—	三宅健司
H30. 5. 30- H30. 6. 3	”森林の都”を実現する県産材の需要と供給の拡大のための技術開発	静岡[KAGU]メッセ2018	—	長澤 正 村松重緒 藤浪健二郎 渡邊雅之 前田研司 山下里恵 石橋佳奈
	ユニバーサルデザイン科業務紹介、デザイン相談窓口紹介		—	多々良哲也
H30. 7. 15	静岡版メタン発酵プラントの実証化試験について	富士宮絆まつり	—	太田良和弘
H30. 10. 2	ものづくり産業支援窓口	ものづくり技術交流フェア	—	櫻川智史
H30. 10. 10	ものづくり産業支援窓口	しんきんビジネスマッチング静岡2018	—	田中伸佳
H30. 11. 7	プログラムレスで構築可能なシステム提案	静岡県IoT応援ツール展示会in沼津	—	岩崎清斗
H30. 11. 9- H30. 11. 10	車載光学機器産業を支援する設計・評価・生産支援技術の開発	産業振興フェアinいわた	—	木野直樹 志智 亘 柳原 亘
	メタン発酵実証化事業の紹介		—	太田良和弘 宮原鐘一
	セルロースナノファイバーの実用化に向けた支援		—	長澤 正
	ものづくり産業支援窓口		—	櫻川智史 田中伸佳
	デザイン相談窓口		—	多々良哲也
H31. 1. 25	MESHを活用した現場のIoT導入お試しツール	静岡県IoT応援ツール展示会inいわた	—	岩崎清斗
合計件数 31 件		学会等発表 22 件・投稿等 1 件・展示会 8 件		

(b) 沼津工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
H30. 9. 7	静岡県オリジナルビールの開発※	シーズ&ニーズビジネスマッチング研究発表会	研究発表会要旨集	鈴木雅博
H30. 11. 27	医療機器IoT化デバイス開発のための画像センシングについて	静岡理科大学地域創成フォーラム	—	竹居 翼
学会誌及び専門誌への投稿				
H30. 9. 30	EMA-PCR-DGGE法によるフルーツ缶詰製造工場からの耐熱性菌探索	—	日本食品微生物学会雑誌 Vol. 35, No3, 143-148, 2018	高木啓詞 太田俊也
一般誌等への投稿				
H30. 10. 31	特別講演 静岡県における醸造用酵母の開発 —清酒用河津桜酵母としずおか微生物ライブラリについて—	静岡県紙パルプ技術協会特別講演会	紙パルプの技術 Vo 1. 69, No. 2, 4-8, 2018	勝山 聡
展示会への出展				
H30. 11. 6	しずおかの微生物が拓く発酵食品ビジネスチャンス！ 静岡県発！河津桜から清酒用酵母 静岡県オリジナルビール酵母の開発	産学官金連携フォーラム	—	バイオ科
	画像センシングによる医療機器IoT化デバイス開発 —機械学習を用いた画像からの数値化について—			機械電子科
H31. 2. 23- H31. 2. 24	はじめまして、食の都しずおか生まれの新しい発酵食品です！	ふじのくに食と花の都の祭典	—	岩原健二 勝山 聡 鈴木雅博
合計件数 7 件		学会等発表 2 件・投稿等 2 件・展示会 3 件		

(c) 富士工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
H30. 6. 28	異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発	接着剤・接着評価技術研究会	—	高木 誠
H30. 11. 26	プラスチック-金属接合のためのプラズマ照射装置の開発※	プラスチック成形加工学会	—	井出達樹
H30. 8. 30- H30. 8. 31	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化	バイオマス利用技術研究発表会	—	大竹正寿
学会誌及び専門誌への投稿				
H30. 10. 20	静岡県新ビジョンと富士工業技術支援センターの取り組み	—	成形加工 Vol. 30 No. 11 2018	佐野禎彦
H30. 12. 1	静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センターの紹介	—	Cellulose Communications 第25巻第4号	佐野禎彦
H31. 2. 10	セルロースナノファイバー添加パルプ繊維シートにおける歩留まりと引張強さの関係	—	Journal of Fiber Science and Technology, vol. 75, No. 2 (2019)	山口智久 齊藤将人
一般誌等への投稿				
H30. 7. 25	静岡県新ビジョンと富士工業技術支援センターの取り組み	—	紙パルプの技術 第69号第1号	佐野禎彦
H30. 10. 31	新聞古紙をトイレットペーパーの原料とするための技術開発(第2報)	—	紙パルプの技術 第69号第2号	齊藤和明 深沢博之 木野浩成 齊藤将人 白井 圭 山口智久
展示会への出展				
H30. 6. 4	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化	ナノセルロースフォーラム	—	大竹正寿
H30. 10. 11- H30. 10. 12	介護用見守りシステムの商品化	国際福祉機器展2018	—	中山 洋
H30. 11. 6	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化 —紙製品への応用— 異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発 —EV開発支援に向けた取り組み—	産学官金連携フォーラム	—	望月紀寿

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
H30. 11. 9- H30. 11. 10	セルロースナノファイバー による地域産業の活性化	産業振興フェアinいわ た	—	大竹正寿
H31. 1. 25	介護用見守りシステムの商 品化	介護ロボット全国フォ ーラム2018	—	中山 洋
H31. 2. 17	介護用見守りシステムの商 品化	ケアテックス2019	—	中山 洋
H31. 2. 8- H31. 2. 9	セルロースナノファイバー による地域産業の活性化	ものづくり力交流フェ ア2019	—	齊藤将人
	異種材料接合のための新型 プラズマ照射装置の開発 —EV開発支援に向けた取組 み—			望月紀寿
	見守りシステムの応用展開 に関する研究 —牛分娩検 知システムの開発と他分野 への応用展開—			
	トイレットペーパーに新聞 古紙を利用するための技術 開発			
	水に解けないトイレットペ ーパーの原因追及と対策			
H31. 3. 4	セルロースナノファイバー による地域産業の活性化	生存圏シンポジウム ナ ノセルロースシンポジ ウム2019	—	白井 圭 山口智久
合計件数 21 件		学会等発表 3 件・投稿等 5 件・展示会 13 件		

(d) 浜松工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
H30. 5. 20	半溶融成形したAL-Si-Mg-Cu合金の曲げ疲労特性	日本鑄造工学会	—	岩澤 秀
H30. 8. 2-3	食品加工バンドソー用の安全強化グローブ	平成30年度地域活性化人材育成事業成果発表会	—	小松 剛
H30. 9. 19	Efficiency improvement of thin-sheet-metal bending by femtosecond laser peen forming	17th International Conference on Metal Forming, Metal Forming 2018	Procedia ManufacturingVol. 15	鷺坂芳弘
H30. 11. 26	レーザーを用いたプラスチック眼鏡レンズの染色	プラスチック成形加工学会成形加工シンポジア' 18	—	植田浩安
	透明樹脂同士のレーザー溶着			小松 剛
	透過波面計測による透明プラスチック製品の品質評価			中野雅晴
H30. 12. 10	サブナノ秒マイクロチップレーザー誘起衝撃波を利用した板曲げ加工*	レーザー加工学会	—	鷺坂芳弘
H30. 11. 11- H30. 11. 13	On the Effect of Dyeing-resistant Paste Material for CHUSEN*	第6回繊維・高分子の染色・機能加工に関する国際会議 (ISDF2018)	—	森田達弥
H30. 12. 21	電気二重層キャパシタ用活性炭製造工程における竹の灰分除去による細孔構造制御	第28回日本MRS年次大会	—	菊池圭祐
H31. 3. 7	マイクロチップレーザー試用プラットフォームの構築とその塑性加工への応用	機械学会東海支部第68期総会・講演会	—	鷺坂芳弘
H31. 3. 13	サブナノ秒マイクロチップレーザーによるレーザーピーンフォーミング (第1報) - パルスエネルギーとデフォーカスの影響	2019年度精密工学会春季大会	—	鷺坂芳弘
学会誌及び専門誌への投稿				
H30. 4. 1	酸添加によるコーヒー抽出残さの高収率炭素化とメソポア活性炭製造	—	炭素 282	菊池圭祐
H30. 6. 15	Pore structure and the properties of electric double layer capacitor electrode of bamboo derived activated carbon prepared by superheated steam	—	Journal of Wood Science	菊池圭祐

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
H30. 11	Fabrication of Precision and Complex-shaped Parts Using a Developed SLM Machine	—	粉体及び粉末冶金第65巻第11号	伊藤芳典
H31. 2. 25	綿織物の産地静岡の変遷	繊維製品消費科学会誌	繊維製品消費科学 Vo 1. 60 No. 2	鈴木一之
一般誌等への投稿				
H30. 6	浜松工業技術支援センターにおける加工技術開発	—	光技術動向調査報告	植田浩安 鷺坂芳弘 山下清光
H30. 6	透明材料の屈折率分布計測			中野雅晴
H30. 9. 1	超短パルスレーザーピーンフォーミング	—	オプトニュース	鷺坂芳弘
展示会への出展				
H30. 5. 19- H30. 5. 20	手機織機、製紐機	はままつ染め織マーケット	—	鈴木一之 鈴木重好 鈴木悠介 森田達弥
H30. 7. 7- H30. 7. 8	ゆかた試作品（縫製ゆかた2点）、ジャカード試織品1点、パネル2枚、染色試作品2点	注染・ゆかた・和装展	—	鈴木一之 鈴木重好 鈴木悠介 森田達弥
H30. 7. 11- H30. 7. 12	120W空冷2 μ mレーザー機 (Lavertex SV-120F)	ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2018	—	小松 剛 山下晶平
H30. 10. 27	布製ポスター、手機織機、製紐機	第10回綿の産地フェア	—	鈴木一之 鈴木重好 鈴木悠介 森田達弥
H30. 11. 9- H30. 11. 10	120W空冷2 μ mレーザー機 (Lavertex SV-120F) 及びレーザー試用プラットフォーム他	産業振興フェアinいわた	—	小松 剛 鷺坂芳弘 山下晶平
H30. 12. 5- H30. 12. 7	レーザー試用プラットフォーム	Photonix2018	—	鷺坂芳弘
H31. 2. 18	レーザー試用プラットフォーム	ImPACT最終シンポジウム	—	鷺坂芳弘
H31. 3. 19	撥水めっき技術	Medtec Japan 2019	—	望月智文
合計件数 26 件		学会等発表 11 件・投稿等 7 件・展示会 8 件		

(2) 平成30年度研究成果一覧

ア 工業技術研究所

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び 普及等の状況	備考
新成長戦略格 研究事業	健康長寿高齢の新たな 機能性食品産業の 創出	継続	共同	H28 ～ H30	平成27年4月に国の機能性表示食品 制度が施行され、機能性食品の市場が 広がっている。生果として初めて受理 された三ヶ日みかんを活用した商品を 開発することで、県内食品市場の更な る活性化を後押しする。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業3社
新成長戦略格 研究事業	セルロースナノフ ィアによる地域産 業の活性化	継続	共同	H28 ～ H30	高い糊剤固し能が期待されているセ ルロースナノフィアノイマーを塗料や接着 剤に添加し、その強度や耐水性等につ いて検討する。糊剤固しについて検討す ることで、付加価値のある製品開発に 繋げる。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	富士工業技術支 援センター、商 工振興課、企業 2社
新成長戦略格 研究事業	車載光学機器産業を 支援する設計・評 価・生産支援技術の 開発	新規	単独	H30 ～ H32	県の成長産業分野である次世代自動 車に求められる車載光学機器の開発に あたり、産業を特許付で発展させた ための先取り型の開発支援のための設 計・評価・生産支援技術の完成させ る。	樹脂成形用金型の表面粗さパラメ ーターと反射特性を対応付け、反射 特性に関わりの深い表面粗さパラメ ーターを特定した。また、屋外の光 環境を照明シミュレーションで再現 するための環境光のデータ化技術を開 発した。	次世代の車載光学機器に求められる先行技術開発に 役立つ。	
新成長戦略格 研究事業	生産基盤拡大に繋が る家畜ふん尿の乾燥 及びエネルギー車換 技術の開発	新規	共同	H30 ～ H32	家畜ふんのエネルギー利用を進める ため、エネルギー源として品質が確保 された家畜ふん乾燥技術や、燃焼系に 発生する排ガス対策技術及び利用技 術を開発することで、新たなエネルギ ー利用システムを構築する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	畜産技術研究 所、企業1社

新成長戦略研究事業 緊急対応研究 枠	次世代自動車に要望されるCNF複合化樹脂へのめっき方法の開発	新規	単独	H30	PPは自動車用樹脂の主流であるが、意匠性、電磁波シールド性付与のためのめっきがつきにくい。最近CNF複合化ポリアミドのめっき性が向上する報告がされたことから、CNFを添加したPPのめっき性を評価した。	CNF添加のPPのめっき密着性への影響を評価した。一部のCNF添加PPについて、めっき密着強度の上昇（1.8倍程度）が観察されたが、この要因は、CNFとともに添加した分散剤の影響であることがわかった。	今回確立しためっき技術について、特に、分散剤がめっきの密着性に与える影響についての視点を含め、CNF添加を含めたPP樹脂複合材料へのめっきについて、県内めっき業界への技術普及、展開を進める。
新成長戦略研究事業 緊急対応研究 枠	独フ라운ホフアー研究機構及び独企業と県内企業の連携推進	新規	単独	H30	独フ라운ホフアー研究機構と県内企業との技術マッチングを現地でいい連携の可能性を検討する。現地で研究シーズの調査、人的ネットワークの構築、県内でのセミナー開催を通して研究交流基盤を構築する。	現地で19回打ち合わせ実施。県内企業7社が個別に同行。日本でのセミナー開催の打診（2件）。県内企業への開発要望（2件）。日独共同研究助成の可能性（1件）。日本でのビジネスマッチング要望（2件）。	ドイツ発の技術を用いて県内企業が次世代自動車照明関連部品を試作（1件）、ドイツの研究者を招いたセミナー開催（2件）。日本でのビジネスマッチング（2件）。
新成長戦略研究事業 チャレンジ研究	高分子分散剤を用いたCNF-ポリプロピレンコンポジット化技術の開発	新規	単独	H30	セルロースナノファイバー（CNF）をポリプロピレン（PP）に分散させるのに適した分散剤及びそれをを用いたCNF-PPコンポジットの開発を目指した。	静岡大学で開発した分散剤を用いて、CNF-PP複合材を試作したところ、PP単独と比較して物性（強度、弾性率）が向上した。	分散剤の改良及び複合材の作製（混練）条件の最適化を進め、複合材の物性の更なる向上を目指す。
新成長戦略研究事業 チャレンジ研究	機能的評価系の構築と静岡県由来乳酸菌が持つ健康機能性の解明	新規	単独	H30	乳酸菌の機能性を評価し、微生物ライブラリー中の微生物の価値を高め、利用促進を図る。	糖化抑制、認知症予防、抗炎症、抗脂肪蓄積について評価系を構築し、乳酸菌を評価したところ、糖化抑制、アミロイドベータ凝集の抑制、炎症時に発生する一酸化窒素産生の抑制、抗脂肪蓄積を示す株を見出した。	確立した評価系で食品機能性を評価できる。機能をもつ乳酸菌について、微生物ライブラリーに情報を追加し、要望にあわせて商品開発に活かしていく。
県単独研究事業	セキュリティに配慮した基本IoTシステム標準の設計	新規	単独	H30～H31	これまで電子情報通信分野にあまり縁の無かった企業からのIoTに関する相談等が増えつつある。そうした企業向けに、既設の装置・設備等を直ぐにIoT化可能な、セキュリティに配慮した仕組みを開発する。	既存のIoTセキュリティ文書の分析と基本IoTシステムの概要設計を行った。残る研究予定項目は平成31年度開始の新成長戦略研究課題で実施し、一般研究課題としては本年度を以て早期終了する。	成果は、平成31年度開始の新成長戦略研究課題「IoT導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築」に引継ぎ、広報・普及に努める。また、IoT関係の技術相談等への対応に積極的に活用する。
県単独研究事業	酪農作業に適したアシストスーツの開発	新規	単独	H30～H31	酪農家の高齢化や長時間労働に伴い、作業負担軽減策に取り組むことが求められている。作業負担軽減の手段としてアシストスーツがあるが、酪農の負担軽減を目標として開発されたものがなく、十分な効果が得られない。	映像と主観評価から実働時間の最も長い作業は搾乳であることから、アシストスーツの負担軽減の対象とした。また、前頸骨筋の筋電図と映像より、しゃがみ姿勢における、姿勢安定性に課題があることを発見した。	酪農就業者の新アシストスーツ着用で、酪農作業時の身体的負担の軽減し、製品化を行っていく。さらに他業種（酪農以外の農業・介護・運送等）・他産業への応用展開を図っていく。

県単独研究事業	医療現場で活用できる頭部固定枕の開発	新規	単独	H30～H31	医師の要望に、手術中における頭部の固定がある。体位変換時の頭部固定の程度は、人体の頭部形状モデルを用いた力学的な検討で評価できる。本研究では、力学的な観点からの頭部固定枕の開発を行う。	力学的シミュレーションによる頭部固定枕の評価方法を検討し、その結果に基づいて頭部を効果的に固定できる枕形状を考案した。また手術用枕に要求される機能に、挿管時の姿勢構築が必要であることを確認した。	本研究で考案した枕の試作を行い、医療現場において、その効果の検証を行っていく。	
県単独研究事業	作業負担を軽減する新たなアシスト機構の開発	新規	単独	H30～H32	農業、工業、運輸業、介護などしやがむ姿勢が多く作業負担が大きい。高齢社会における高齢者就業が増える中、作業負担軽減するための寄稿を開発する。	立ち上がり、しやがむの際に、膝の負担を軽減するアシスト機構の設計、試作を行った。		
県単独研究事業	伊豆特産柑橘の香りを生かす化粧品開発と機能性エビデンスの創出	新規	単独	H30～H32	新規かつ機能性のある化粧品素材として有望、かつ伊豆の地域振興に活用が望まれている特産柑橘の「香り」のヒトへの心理・生理的な効果（機能性）のエビデンスを得る。	静岡県特産柑橘の香りに、抗ストレスの傾向を見出した。また、一部の試験参加者において、香りを嗅ぐことにより、認知に係る脳血流量の増加が認められた。	特産柑橘の香りのエビデンズ及び香りの解析・抽出・素材化・製品化技術を活用し、産地、素材加工メーカー及び県内化粧品メーカーをマッチングすることで製品化を促進する。	地方創生推進交付金
一般共同研究事業	オーディオスピーカーの研究開発	継続	共同	H28～H30	ハイレゾリューションログレコードを高解像度で再生するための新たな専用吸音材料とそれを用いたオーディオスピーカーを開発すること。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業2社
一般共同研究事業	静岡県健康長寿モデル構築のためのレシピ及び高機能型食品開発	継続	共同	H28～H31	県産食材を活用して生活習慣病予防を旨とした食生活に寄与する食事メニュー（食改善レシピ）開発ならびにコロナ予防食品の開発	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究事業	溶浸法による複合材料の開発	継続	共同	H29～H30	自動車の燃費基準を約20%改善するため、車体重量の20～40%削減が必要となる。アルミニウム化やCFRPの利用のほか、各種材料の複合化技術も今後の軽量化に向けて有効と考えられる	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究事業	熱溶融型溶着工程の不良原因の解明と工程管理の高度化	継続	共同	H29～H30	ホットメルト接着剤加工工程内の接着剤の劣化度や接着強度の分析及び塗布状態を評価することにより、接着トラブルの原因を解明し、各種センサーを活用して製造工程の高度化を図る。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社

一般共同研究 事業	赤外分光イメージング評価を指標としたCNFコンポジット技術の開発	新規	共同	H30 ～ H31	本研究所有する高分子材料の評価技術を活用し、CNF添加高分子材料試料に対して簡易的で迅速な評価技術の確立を図り、県内企業の製品化を支援する。	赤外分光イメージング測定技術を用いたPP（ポリプロピレン）CNFコンポジットのCNF分散状況の確認手法を確立できた。これによりCNFコンポジット開発がより容易となった。	平成30年度産業技術動向推進会議高分子分科会関東地区連絡会議及び研究所研究発表会にて成果を発表した。	静岡大学農学部
一般共同研究 事業	鯉だしの香りによるヒトの心理的・生理的応答に関する研究	新規	共同	H30	鯉だしの香りに注目し、そのバリエーション調節や抗ストレス作用を明らかにする。これにより、「食品の健康機能」への、鯉だしの香りの活用を目指す。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	静岡県立大学 企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）	農林業のニーズに応える小型・低コストバイオオマスタシ化発電システムの開発	継続	受託	H28 ～ H30	農業残渣を原料とする小規模・低コストバイオオマスタシ化発電システムを開発する。新方式の攪拌技術の採用により、ガス化の高速化及び多種バイオオマスタシの活用を目指し、200kW屋外仕様発電ユニットを事業化する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 地産エネルギー促進事業費（県エネ課）、エネルギー構造高度化・転換理解促進事業（資源エネ庁）	静岡版メタン発酵プラントによる食品バイオオマスタシのエネルギー利用	継続	受託	H29 ～ H31	県内食品製造企業等が食品廃棄物のエネルギー利用によるリサイクルするのを支援するため、廃棄物排出規模に適する安価な小型メタン発酵プラントを開発し、分散型エネルギー社会と物質循環型社会の構築を目指す。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業3社

受託研究（競争的資金による研究） 地域課題に係る産学共同研究委託事業（静岡市産学交流センター）	廃石膏ボードの石膏を利用したリン回収システムの研究開発	継続	受託	H29～H31	リン鉱石は国内では産出しないことから、農業利用に向けて新たな調達方法が求められている。本研究では、需要が低迷する再生半水石膏を利用し、汚泥焼却灰からリンを抽出する技術を開発する。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社、静岡大学
受託研究（競争的資金による研究） 地域産学バリエーションプログラム(JST)	バイオリズムに着目した新しい評価方法によるバラの香り成分の機能的活用のための科学的エビデンスの構築	継続	受託	H29～H30	バイオリズムを考慮したバラの香り機能を評価し、バラの香り提示方法の提案によるアロマ化粧品の開発を目指す。	受託研究につき公表を控えます。	
受託研究（競争的資金による研究） （一財）東海産業技術振興財団第29回研究助成金	白金担持セルロースナノファイバーの炭素化による新規な高機能触媒の開発	継続	受託	H28～H30	新規白金化合物とセルロースナノファイバー（CNF）を組み合わせる事で、白金触媒能の高効率化を図り、使用量の低減と耐久性の向上を実現する。	受託研究につき公表を控えます。	
受託研究（競争的資金による研究） 地域課題に係る産学共同研究委託事業（静岡市産学交流センター）	まぐろ由来機能性成分を強化した食品の開発	新規	受託	H30～H30	マグロは静岡を代表する食資源であり、ネギトロ加工工場での未利用資源を活用したマグロのハムを開発し、さらにDHAやEPA、カルシウムを配合することで、健康志向の地域商品を開発すること。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社、東海大学

受託研究（競争的資金による研究） 地域課題に係る産学共同研究委託事業（静岡市産学交流センター）	多機能性おかず缶詰の開発	新規	受託	H30	多機能性おかず缶詰の開発に必要な有用成分の抽出方法の検討と各種分析を目的とする。	受託研究につき公表を控えめします。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 地域課題に係る産学共同研究委託事業（静岡市産学交流センター）	静岡茶を使った介護用品『にぎるつ茶』の開発	新規	受託	H30～H31	拘縮手のケアは、掌内の悪臭やたぐいの対策とともに拘縮の進行抑制が必要となるため、吸湿・消臭性と進行抑制機能を兼ね備えた握り袋の開発を行った。本研究では、製品開発に係る機能性評価や物性評価を行った。	受託研究につき公表を控えめします。	企業1社
受託研究（競争的資金以外）の研究	ハットランプ配光測定方法の検討	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	企業1社
受託研究（競争的資金以外）の研究	機能性茶飲料のための原料茶評価と抽出条件検討	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	企業1社
受託研究（競争的資金以外）の研究	食品の物性を改善する茶葉由来の微細化素材の開発及び物性等の評価	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	企業1社
受託研究（競争的資金以外）の研究	新規乾燥こんにゃく素材の開発	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	企業1社
受託研究（競争的資金以外）の研究	茶エキスの成分分析及び解析	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えめします。	受託研究につき公表を控えめします。	企業1社

受託研究（競争的資金以外の研究）	茶の美の活用に関する研究	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	乳酸菌発酵肉開発のための乳酸菌利用技術の確立	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	簡易迅速な有機物濃度分析法の構築と液肥製造工程管理への応用	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	ホウ酸系防腐防蟻剤の木材内部への拡散浸透効果の検証	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	セルロースナノファイバを活用した冷蔵シートの開発	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

イ 沼津工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び 普及等の状況	備考
新成長戦略研究 事業	次世代型インプレットの型鍛造成形を可能にする設計支援技術の開発	新規	単独	H30 ～ R2	インプレットの低価格化、コストム化の流れに対応するたため、型鍛造成形を取り入れた新たな加工法への転換が必要である。本研究では当該加工法によるインプレット製造を可能にする設計支援技術の開発を行う。	温度、圧縮速度を変化させた異なる10種類の試験環境下で生体適合性材料（医療用金属）の変形特性を調べ、その特性から設計支援技術のための材料特性データを28点取得した。	新規加工法を用いた医療機器開発時の設計支援技術・ツールとして、主に医療機器製造業者に対する技術支援や共同研究開発等で活用していく。	
新成長戦略研究 事業 チャレンジ研究	麹菌を介した清酒の新規香気成分生成及び麹菌の新規育種方法の検討	新規	単独	H30	醸造工程で生成される吟醸香成分は、清酒の中でも高品質である吟醸酒の品質に大きな影響を与えている。本研究では、麹菌を介して生成される新規吟醸香の獲得を目指す。	新規吟醸香候補成分前駆体となり得るL-Val及びL-Argの代謝物をそれぞれ1種類ずつ見出した。また、薬剤耐性選抜法により、麹菌の変異株を計55株取得した。	本成果は、速やかに県内清酒製造企業に公表するとともに、今後も清酒の新規吟醸香の生成について検討を進め、最終的には本県オリジナル麹菌の分離を目指す。	
県単独研究事業	かつお腸管由来乳酸菌のゲノム解析による優良遺伝子の探索	新規	単独	H30	センターで保有するかつお腸管から取得した乳酸菌は、魚肉の熟成効果が高く、旨味成分を多く生成し、臭み成分を取り除く特性を持つ。これについて全ゲノム解析を行い、関連する遺伝子及び成分を調べる。	全ゲノム解析を行い遺伝子情報を得た。他の乳酸菌との間に、ゲノム配列の差や熟成効果の差が見られた。	優良遺伝子を取得し微生物の育種を行う際の指標とすることで、新たな有用微生物の創出や新たな発酵食品の開発を促進する。	
県単独研究事業	携帯情報端末を活用した酸素ボンベ残量の測定メータの開発	新規	単独	H30 ～ R1	近年高性能化が著しいスマートフォン等の携帯情報端末を活用した次世代型の酸素ボンベ残量メータを開発する。これにより、ヒューマンエラーに因る医療事故ゼロを目指す。	画像解析及び機械学習を用いて、計器撮影画像から計器指示数値データを取得する手法を検討した。取得した計器撮影画像を対象に、機械学習による手法で数値化した結果、最大99%の精度で正しく数値化できた。	県内の病院等の医療現場における利用や、ファルマバレープロジェクト参画企業への技術移転を図る。	

一般共同研究事業	しずおか有用微生物ライブラリを活用した静岡サワーエールの開発	新規	共同	H30～R1	本県には多くの地ビール製造場が存在し、県内メーカーからは酸味が特徴的なサワーエールの開発について要望が寄せられている。そこで本研究では、微生物ライブラリを活用した本県独自のサワーエールの開発を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）	骨端用プレートの高品質・低コスト成形加工技術の開発	継続	共同	H28～H30	骨折治療等整形外科分野において使用される生体適合性の高いチタン合金（Ti-6Al-4V）製骨端用プレートの高品質・低コスト化を図る成形加工技術を開発する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	（一財）ふじのくに医療城下町推進機構、企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	葛の花から分離した酵母によるプラント規模の試験醸造	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	整形外科用インプラントの金属組織評価	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

ウ 富士工業技術支援センター

区分	研究テーマ (細目)	研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	備考
新成長戦略研究 事業	セルロースナノファイ バーによる地域産 業の活性化	セルロースナノファイ バー (CNF) を利用した紙製品を開発するため に必要な基礎データ等を収集、整理 提供することで、地域企業による研究 開発への取り組みを容易にし、CNF利 用製品の開発促進を目的とする。	継続	共同	H28 ～ H30	セルロースナノファイバー (CNF) を利用した紙製品を開発するため に必要な基礎データ等を収集、整理 提供することで、地域企業による研究 開発への取り組みを容易にし、CNF利 用製品の開発促進を目的とする。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社、東京家 政大学
新成長戦略研究 事業	異種材料接合のた めの新型プラズマ 照射装置の開発	新型プラズマ照射装置を開発 し、照射データを収集し実用化を 目指す。各種照射条件を基に新規 異種材料接合を目指す。県内企業 が異種材料接合部品製造に取り組 み、次世代自動車産業への参入す ることを支援する。	継続	単独	H29 ～ H31	新型プラズマ照射装置を開発 し、照射データを収集し実用化を 目指す。各種照射条件を基に新規 異種材料接合を目指す。県内企業 が異種材料接合部品製造に取り組 み、次世代自動車産業への参入す ることを支援する。	県内外の企業および接業界関 係者と連携を進め、研究協力によ る実験を行っている。また、研究 に関して学会での発表を行った。		
県単独研究事 業	水に解けないハイ レットペーパーの 原因追及と対策	再生紙トイレットペーパーは、 従来上質な古紙を原料としていた が、古紙原料の品質低下により、 水に解けないというトラブルの相 談が増加しているため、この原因 を明らかにし対策を図る。	継続	単独	H29 ～ H30	再生紙トイレットペーパーは、 従来上質な古紙を原料としていた が、古紙原料の品質低下により、 水に解けないというトラブルの相 談が増加しているため、この原因 を明らかにし対策を図る。	協力企業があるため公表を控え ます。	協力企業があるため公表を控え ます。	協力企業5社
一般共同研究 事業	見守りシステムの 応用展開に関する 研究	見守りシステムの 応用展開に関する 研究	継続	共同	H28 ～ H30	新成長戦略研究 (H25～27) で 開発した介護用見守りシステムを 基にして、牛の分娩検知システム の開発や見守りシステムの普及・ 応用に係る研究開発を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社、畜産技 術研究所

区分	研究テーマ (細目)	研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	備 考
事業名									
新成長戦略研究事業	次世代自動車の軽量化に貢献する3D熱変形等計測・評価技術の開発	次世代自動車に求められる車載部品の軽量化を目的に、3D熱変形計測システム、熱変形シミュレーション技術、品質工学を適用した3D熱変形公差技術を確立する。	継続	単独	H29～H31	40℃から120℃までの温度環境下で3D熱変形計測できる環境を整えた。また、ウルトラハイテン材の成形限界線図を専用機を使用せず汎用的な装置を用いて作成する方法を開発した。	地元企業及び静岡文化芸術大学と研究グループを結成し、部品形状と3D熱変形についての課題を抽出し基礎実験を行った。また、浜松品質工学研究会で熱変形を考慮した公差解析の手法を解説した。		
県単独研究事業	複合的・多角的アプローチによる金属腐食生成物の解析	実験的に腐食・変色させためっき品等の金属材料について元素分析、赤外分光分析等により解析したデータをデータベース化するという複合的・多角的なアプローチによって金属の腐食・変色の発生原因の特定を目指す。	継続	単独	H29～H30	2年間で元素データ199点、化合物データ374点、合計573点のデータを取得した。既に実際に、協力企業及び他企業から持ち込まれた腐食・変色に対する原因の特定に結びついた案件が得られている。	本研究によって得られる知見やスキルは、めっき等金属表面処理業種だけでなく金属部品を扱うほとんどの全ての企業で発生する金属の腐食に関する諸問題の解決に貢献できる。		
県単独研究事業	分光特性を利用したもつづくりの品質検査に関する研究	企業の商品管理において、樹脂製品の残留応力や金属表面の形状を評価することが必要とされている。本研究では、検査対象の分光特性を利用した樹脂内部の応力分布と大面積の表面粗さ分布を測定する技術を開発した。	新規	単独	H30～H32	計測対象を透過する光量が少なくても応力に起因する複屈折分布を可視化できる装置を構築した。また、試料の分光反射特性から表面粗さを推定する評価技術を開発するために、試料の形状と分光反射率の相関を評価した。	複屈折分布可視化装置を用いて分光計測機器を開発する企業の製品開発を支援した。分光反射率測定による表面粗さ推定に関しては、成果を活用した受託研究を実施した。		
県単独研究事業	EMC試験機器の不確かさの算出による測定信頼性の向上	地域企業が行なうEMC試験への支援体制を整えることを目的に、EMC機器類の日常点検法の確立、及び測定の不確かさを検討することにより、当センターにおけるEMC測定の信頼性向上を図る。	新規	単独	H30～H31	伝導妨害波測定、放射妨害波測定の測定の不確かさを検討するとともに、静電気試験、インパルスノイズ試験やサージイミュネーション試験などの日常点検に関する手順書を作成し、運用を開始した。	日常点検で機器の維持管理を適切に行うことにより、利用者が測定値に疑いを抱く余地が減少する。測定の不確かさの算出・管理により測定値の信頼性や測定技術の向上が図られ、試験の品質管理を行う基盤を形成できる。		

単独研究事業	活性炭の高比表面積化による電気二重層キャパシタの静電容量向上	新規	単独	H30～H31	次世代自動車へのキャパシタ搭載が注目されているが、キャパシタの主要部品である活性炭の供給不足が懸念されている。本研究では、コーヒーカーブを原料としてキャパシタ用の高性能・低コスト活性炭を開発する。	活性炭の性能向上・低コスト化が期待できる技術については特許出願しており、この技術をコーヒーカーブに応用する。コーヒーカーブ活性炭の製品化を目的に多数の企業から技術相談が寄せられている。	開発するコーヒーカーブ活性炭を用いたキャパシタを回生システム、バックアップ電源など次世代自動車に必要とされる製品に搭載する。キャパシタ以外にも水処理、空気浄化など多岐に亘る分野に応用展開していく。	企業4社
一般共同研究事業	レーザーを用いた樹脂材料への染色技術の産業応用	継続	共同	H29～H31	これまで培ってきたレーザーを利用した着色技術を、要望の高い「樹脂や繊維製品への均一な着色や視認性の良いマーキング」へ適用するための技術開発を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業4社
一般共同研究事業	医療器具関連のレーザー加工装置の開発	継続	共同	H29～H31	企業からレーザー加工装置、周辺装置の開発の依頼がある。その中から、医療器具関連の加工でレーザーの特性を活かす可能性が高いものについて共同研究を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究(競争的資金による研究)	マイクログリップレーザーのニューゼビリティ評価	継続	国庫	H29～H30	当センター内に分子研で開発したマイクログリップレーザーのプラックトフォームを構築し、プロジェクト参加企業に開放して、用途開発を推進し、発振器の商品化にあたって装置の改良の洗い出しを行う。	7月にプラックトフォームの利用説明会を開催し、参画企業および一般に開放した。用途開発として板曲げの基礎研究を行った。	利用説明会でプラックトフォームの講演および見学を行うとともに浜松工技センターの見学も行った。参加者は合計111名。板曲げについての学会発表を3件行った。	(国)JST、分子科学研究所
受託研究(競争的資金による研究)	熱可塑性樹脂を母材とした繊維強化複合材の成形加工に関する研究開発	継続	受託	H29～H32	本研究開発では、軽量化ニーズに対応するため、一方向炭素繊維強化樹脂テープを用いて、独自の圧縮成形技術により、形状自由度が高く、低コストのCFRP成形技術の開発を目指す。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業2社、静岡大学

受託研究（競争的資金による研究） 産学官連携開発助成事業（公益財団法人静岡県産業振興財団）	めっき技術による撥液性皮膜作製技術の開発	新規	受託	H30～H32	医療・バイオ・環境を中心に様々な分野で微量の液体を扱う技術が利用されており、液離れを容易にする“撥液性付与技術”が望まれている。本研究ではめっきを利用した撥液性表面作製技術を開発する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	粗さ試験片に対する形状計測と質感計測との相関評価	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	アルミニウム合金砂型鋳物の機械的性質に及ぼす合金成分および熱処理に関する研究開発	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	プラチナめっき電極作製技術の開発	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	電磁鋼板の加工変質層に及ぼすプレース成形成条件の影響	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	ユーヒーカす活性炭電極の厚さが電気二重層キャパシタ特性に及ぼす影響	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	チェーンの表面処理と機械強度の関係について	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	CP加工とSEM-EDXによるセンサ断面構造の評価・解析	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	レーザー処理および後処理後の表面状態の解析	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

受託研究（競争的資金以外）の研究	樹脂、非鉄金属のエンドミル切削における切りくず排出性の向上	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外）の研究	超高強ポリエチレン繊維を用いた組糸への塗工方法の検討	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外）の研究	高比重成形材を用いた成形品の品質評価	新規	受託	H30	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

静岡県工業技術研究所

〒421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷2078

TEL 054-278-3028 FAX 054-278-3066

静岡県工業技術研究所

沼津工業技術支援センター

〒410-0022 沼津市大岡3981-1

TEL 055-925-1100 FAX 055-925-1108

静岡県工業技術研究所

富士工業技術支援センター

〒417-8550 富士市大淵2590-1

TEL 0545-35-5190 FAX 0545-35-5195

静岡県工業技術研究所

浜松工業技術支援センター

〒431-2103 浜松市北区新都田1-3-3

TEL 053-428-4151 FAX 053-428-4160

平成30年度 年報
静岡県工業技術研究所

令和2年2月発行（2020）

編集・発行

静岡県工業技術研究所

企画調整部

〒421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷2078

TEL 054-278-3028

FAX 054-278-3066